

地方独立行政法人岐阜県立多治見病院

平成26年度 業務の実績に関する評価結果

【参考資料】

平成27年 9月

岐阜県地方独立行政法人評価委員会

I 法人の概要

1 法人の現況

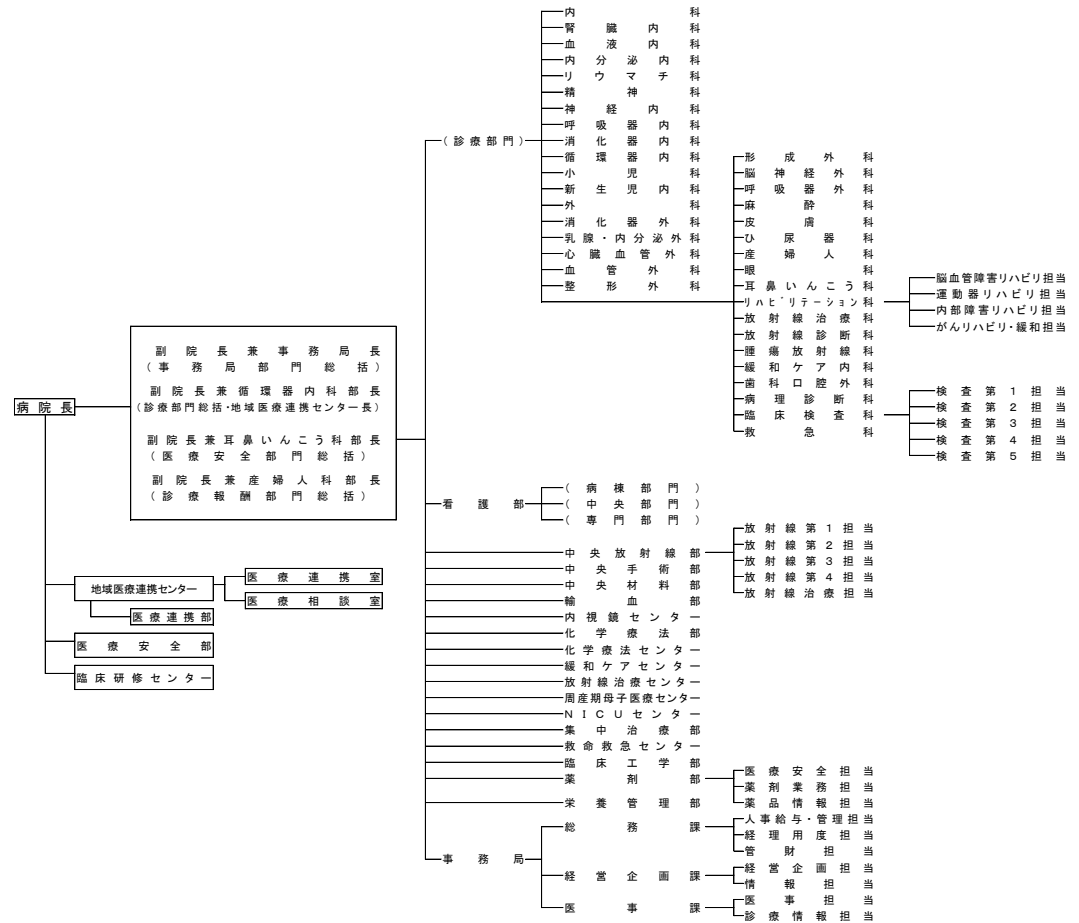
- (1) 法人名称 地方独立行政法人岐阜県立多治見病院
- (2) 所在地 多治見市前畑町5丁目161番地
- (3) 設立年月日 平成22年4月1日
- (4) 役員の状況

平成26年4月1日現在

役職	氏名	備考	役職	氏名	備考
理事長	原田 明生	院長	理事	鈴木 藏	陶芸家 重要無形文化財保持者
副理事長	松葉 英之	副院長(事務局長)	理事	加藤 智子	ヤマカ楳代表取締役
理事	横井 清	副院長	監事	小島 浩一	弁護士
理事	上田 幸夫	副院長	監事	木村 太哉	公認会計士
理事	柘植 容子	看護部長			

(5) 組織図

平成26年8月1日現在



(6) 職員数 (平成26年4月1日現在) 1,003人

職 種	医師 (歯科医師含)	看護師 (准看護師、看護士含)	コメディカル	事務ほか	合 計
常 勤	119人	464人	144人	49人	776人
非常勤	22人	118人	14人	73人	227人
合 計	141人	582人	158人	122人	1,003人

2 法人の基本的な目標

(1) 中期目標の前文

岐阜県立多治見病院においては、県民が身近な地域でいつでも安心して良質な医療を享受できるように、地域の基幹病院として地域の医療水準の向上、住民の健康と福祉の増進に取り組んできた。

しかし、少子・高齢化の進展、医療技術の高度化・専門化、疾病構造の変化、医療需要の高度化・多様化などにより、近年の医療を取り巻く環境は大きく変化している。

特に、産科・小児科の医師不足、手厚い看護体制の導入に起因する看護師不足、診療報酬のマイナス改定等、医療、病院経営を取り巻く状況は一段と厳しさを増している。

一方、県民の健康への関心はきわめて高く、今後、これまで以上に、質の高い医療サービスを求められることが十分に予想される。

これからも、岐阜県立多治見病院として、このような、医療制度や社会経済情勢の変化に迅速に対応し、県民が必要とする医療をより良くかつ継続的に提供することができるように、地方独立行政法人に移行することとし、この中期目標において、地方独立行政法人岐阜県立多治見病院の業務運営の目標や方向性を示すこととする。

地方独立行政法人化後は、地方独立行政法人制度の特徴を十分に活かした、自律性・機動性・透明性の高い病院運営に努め、東濃地域の医療の最後の砦として地域全体の医療水準の向上を図り、もって県民の健康の確保及び増進に寄与していくことを強く求めるものである。

3 設置する病院の概要

- (1) 病院名称 岐阜県立多治見病院
診療科: 36科
- (2) 所在地 多治見市前畑町5丁目161番地
- (3) 沿革

年	月	概 要
昭和14年	5月	県立多治見病院開設→診療開始 昭和14年9月8日
昭和33年	10月	医療法による「総合病院」の指定
昭和43年	2月	岐阜県知事から「救急病院」の指定
昭和59年	2月	診療本館 (現 中央診療棟) 完成
昭和63年	12月	MR I 棟完成
平成 2年	10月	新東病棟 (現 東病棟) 完成
平成14年	3月	(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価の認定取得
平成18年	1月	電子カルテシステム導入
平成22年	3月	中・西病棟完成
〃	4月	地方独立行政法人に移行
〃	6月	緩和ケア病棟20床開設
平成24年	1月	(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価(Ver. 6.0)の認定取得
〃	5月	精神科病棟46床開設 (再開)
平成25年	4月	高精度放射線治療センター稼働

(4) その他

①基本理念

安全で、やさしく、あたたかい医療に努めます。

②行動指針

- ・分かりやすい言葉で、分かりやすく説明します
- ・安全を何度も確認することを怠りません
- ・常に高度先進医療を取り入れ、最新・最高の医療を目指し自己研鑽に努めます
- ・倫理観に基づく医療人としての誇りと自覚をもって取り組みます
- ・健全経営に努めます

II 全体的な状況

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組の状況

1-1 診療事業

東濃地域の基幹病院として、近隣の医療機関等との役割分担・連携のもと、地域の限られた医療資源を有効活用し、良質かつ高度な医療を提供できるよう必要な職員の確保、職員のスキルアップ支援、院内研修の実施、高度医療機器の計画的な整備、診療効率アップ及び患者目線に立ったサービス向上のための施設整備等の取り組みを行った。

今年度、平均在院日数の短縮や医療連携の強化などにより7対1看護体制が実現し、より質の高い医療の提供が可能となった。

地域がん診療連携拠点病院としての責任を果たし、地域から期待されるがん治療の推進に応えることを目的として、緩和ケアセンターや放射線治療センターを開設した。さらに、開業医への訪問活動に中央放射線部の職員も同行し、患者負担を軽減できる高精度放射線治療システム、CTやMRIなどの利用促進をしてきた。

患者・住民サービスの向上については、中央診療棟の外来系統の空調機を整備し、外来患者等の快適性向上を図った。入院患者への給食は、治療効果を高め、より快適な入院生活を送ることができるよう、食種や、献立・食材の見直しを行った。

待ち時間に対しても、中央採血室の稼働時間を15分早めたり、早朝コンシェルジュ業務を8時から配置するなどをして積極的な患者案内の取り組みにより、診療や会計待ちに関するストレスの解消を図った。患者に対する満足度・待ち時間調査を民間機関に委託し、これにより、他の同規模病院との比較ができるとともに、患者が病院に求める要素にかかわる満足度が把握できるようになり、今後取り組むべき課題が明確になった。

病院運営協議会を開催し、地元住民の要望・意見収集にも取り組んだ。その他、患者相談窓口を充実させ、その内容に基づく患者サポート体制カンファレンスを定期的に開催して、医療相談、クレーム事例など患者からの意見・要望を把握し、医療安全活動と合わせて、患者の権利の保障について検討した。

また、よろず相談・かかりつけ医紹介センターの設置や、かかりつけ医へ患者の診療予定日をお知らせする仕組み（多治見シャトル）の構築など患者相談体制の充実を図った。

精神科病棟に入院している医療保護入院者の退院促進に向けた取り組みを推進するため、退院後の生活環境に関わる者や退院後の医療関係者などを参加者とした医療保護入院者退院支援委員会を設置した。

1-2 調査研究事業

提供する医療の質及び地域の医療水準の向上等を図るため、クリニカルインディケーターについて、各診療科の実績データをホームページ上で公表及び経年的に評価を行うようにして、調査研究事業に積極的に取り組んだ。

地域医療機関や地域住民に対しては、病院が保有する保健医療情報を広く公開するため、市民公開

講座の開催及び広報誌「けんびょういん」の発行などを行った。さらに医師、看護師が講師となり「健康づくり講座」を多治見市内の公民館で11回開催した（総参加者数 260名）。また、地域住民との交流を主たる目的として開催した病院秋まつりにおいて、血管年齢測定など健康指導を行った。

1-3 教育研修事業

質の高い医療従事者を養成するため最新の医療技術や知識を習得できるよう国内外の学会や講習会への参加に必要な費用を負担し支援した。

研修医を対象とした内科症例検討会、各診療科部長による講義、早朝勉強会を定期的に開催した。特に内科症例検討会では、研修医自らが症例提示を行うなど、より実践的な形式を採用し内容の充実を図った。また、研修医が求める臨床研修内容を臨床プログラムに反映させることにより、臨床研修体制の確立に努めた。

医学部生、看護学生等の実習生を積極的に受け入れ、医療従事者の育成に努めた。同時に救急救命士に対する病院実習も積極的に実施し、医療技術の向上を支援した。

1-4 地域支援事業

地域医療支援病院として、地域の医療機関との連携を強化し、医療機関相互の役割を明確化することにより、それぞれの特色を生かした医療資源の有効活用、地域完結型医療を目指した。医師会長をはじめとした医療関係団体の代表者、関係行政機関代表者、学識経験者で構成する地域医療連携推進協議会を4回開催し、協議会を通じて地域医療連携パスの推進や、高度医療機器の共同利用等の推進を働きかけた。その結果、患者紹介率、逆紹介率ともに高い水準を維持することができた。（紹介率69.3%、逆紹介率86.0%）

地域全体の医療水準の向上を目的に、医師、看護師をはじめとした医療従事者を対象に各種講演会、研修会、勉強会、症例検討会等を開催した。また、次世代の地域医療の担い手育成のため、多治見看護専門学校、中京学院大学等に医師、認定看護師等を講師として派遣した。また、多治見陶器まつり実行委員会の要請で多治見陶器まつりに、救護班として職員を派遣した。

東濃可見地域にある8病院で「東濃・可見地域病連携推進会議」を開催し、地域のそれぞれの持つ医療資源を繋ぎ、限られた医療資源を有効活用していく方を講じていく場として今後も進めて行くこととした。

医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への人的支援として、国民健康保険上矢作病院、国民健康保険蛭川診療所、中津川市民病院へ医師を派遣した。

1-5 災害等発生時における医療救護

災害拠点病院（平成23年10月に指定）として、地震、火災、津波、テロなどの大規模災害発生時等に、病院機能を維持し、東濃西部地域での初期救急の中心となって活動できるよう、大規模災害を想定した災害実働訓練の実施、DMA Tの質の向上・維持のため厚生労働省、中部地区、岐阜県の開催する訓練に参加した。

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組の状況

医療環境の変化や住民の医療需要に的確に対応できるよう、経営分析や予測、各種広報の展開など、経営基盤の強化を図った。

DPC環境下における病院収益向上を目指し、診療報酬担当を中心にレセプトチェックシステム、DPCコーディング検証に取り組み、診療報酬請求の的確化と効率的な事務の推進による収益向上を図った。

材料費では、各種委員会をとおして節減対策を検討するとともに、平成23年度から委託している病院経営に関するコンサルタント業務の専門業者を活用し、医療機器購入価格や医薬品、診療材料契約単価の価格交渉、検体検査外部委託の競争入札の導入、SPD（物流管理）システムの契約・運用などを行った。

また、平成27年度からの委託業務などについて、引き続き仕様書内容の見直し、複数年契約、契約金額の抑制などを行った。5年間の主たる取引先金融機関について、プロポーザルを実施し価格面のみでなく病院運営に有利となる提案を比較検討し決定した。

医師の業務負担軽減を目的に採用している医師事務作業補助者を40名に増員し、運用を23診療科に拡大した。また、病棟事務補助者も配置し、看護師の業務負担軽減を図った。

7対1看護体制の実現を契機に、外来と病棟の配置の充実を図り、また、看護体制の強化のため、夜勤専従看護師の配置、育児部分休業及び育児短時間勤務や、復帰に不安を抱えている離職者のための職場復帰支援プログラムを実施した。

3 予算、収支計画及び資金計画（財務内容の改善に関する事項）の状況

[収益] 医療連携の強化や、7対1看護体制を実現による診療単価増などにより、昨年度と比べ医療収益において1.0%、収益全体でも1.0%の増（1.6億円）となった。しかし、計画に比べ医療収益において1.2%、収益全体でも1.0%の減（▲1.6億円）となった。

[費用] 材料費や経費における価格交渉や契約方法の見直しなどの経費節減の努力により、昨年度と比べ医療費用において1.9%、全体で2.9%の増にとどまった。計画に比べ医療費用において0.8%の減となり、費用全体では0.3%の減（▲5.4億円）とすることができた。

こうした業務運営の改善及び効率化により、単年度収支は2億6千8百万円の黒字となり、経常収支比率も101.6%と目標である100%以上を平成22年度の独立行政法人化から5年連続で達成した。

経常収支比率 = (営業収益+営業外収益) ÷ (営業費用+営業外費用) × 100

営業収益 16,520,556千円

営業外収益 107,172千円

営業費用 15,701,714千円

営業外費用 660,576千円

4 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項の状況

職員の就労環境の向上については、医師、看護師等が職務に専念でき、負担を軽減できるよう医師事務作業補助者・病棟事務補助者等を採用し、効率的な職員の配置に取り組んだ結果、補助体制加算は昨年度の25:1から15:1となった。

院内保育では、昨年度から引き続き民間会社に保育業務を委託し、夜間保育、休日保育、及び病児保育の利便性を向上させた。

必要な看護師数確保のため、看護職員修学資金貸付制度の創設や、県内外の就職ガイダンスに積極的に参加するとともに、育児中の女性職員が安心して働けるように育児部分休業制度活用の推進などに取り組んだ。

職員の健康管理については、法定検診（定期健康診断、人間ドック）、任意検診（各種抗体検査、予防接種等）などを確実に受診させるよう働きかけた。さらにメンタルヘルス対策にも取り組んだ。

医療機器・施設整備については、費用対効果、県民の医療需要、医療技術の進展等を総合的に判断し、機器の選定及び購入を行った。

法人が負担する債務の償還については、岐阜県に対する債務の償還を確実に実施した。

Ⅲ 小項目別自己評価結果一覧表

(→評価書では 小項目ごとの検証結果一覧表)

※一部、項目名を省略して記載しているものや、便宜的に項目名を付しているものがある。

大項目	中項目	小項目	項目 通番	自己 評価	検証 結果	
1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組	1-1 診療事業	1-1-1 より質の高い医療の提供	(1) 高度医療機器の計画的な更新・整備	01	Ⅲ	Ⅲ
			(2) 長時間勤務の改善等働きやすい環境の整備	02	Ⅲ	Ⅳ
			(3) 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成	03	Ⅳ	Ⅳ
			(4) 認定看護師や専門看護師等の資格取得の促進	04	Ⅲ	Ⅲ
			(5) コメディカルに対する専門研修の実施	05	Ⅲ	Ⅲ
			(6) EBMの推進	06	Ⅲ	Ⅲ
			(7) 医療安全対策の充実	07	Ⅲ	Ⅲ
			(8) 院内感染の発生原因の究明及び防止対策の確立のための体制整備	08	Ⅲ	Ⅲ
	1-1-2 患者・住民サービスの向上	(1) 待ち時間及び検査・手術待ちの改善	09	Ⅲ	Ⅲ	
		(2) 院内環境の快適性向上	10	Ⅲ	Ⅲ	
		(3) 医療情報に関する相談体制の整備	11	Ⅲ	Ⅲ	
		(4) 患者中心の医療の提供	12	Ⅲ	Ⅲ	
		(5) イフォーム・コンセント・カット・ボーン等の徹底	13	Ⅲ	Ⅲ	
		(6) 満足度調査の病院運営への反映	14	Ⅲ	Ⅲ	
	1-1-3 診療体制の充実	(1) 患者動向や 医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実	15	Ⅲ	Ⅲ	
		(2) 多様な専門職の積極的な活用	16	Ⅲ	Ⅲ	
	1-1-4 近隣医療機関等との役割分担・連携	(1) 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上	17	Ⅳ	Ⅳ	
		(2) 地域連携クリニカルパスの整備普及	18	Ⅲ	Ⅲ	
		(3) 退院後の療養に関する各種情報の提供	19	Ⅲ	Ⅲ	
	1-1-5 重点的に取り組む医療	(1) 救命救急医療	20	Ⅲ	Ⅲ	
		(2) 心臓血管疾患医療	21	Ⅲ	Ⅲ	
		(3) 母子周産期医療	22	Ⅲ	Ⅲ	
		(4) がん診療拠点	23	Ⅳ	Ⅳ	
		(5) 精神科医療・感染症医療	24	Ⅲ	Ⅳ	
		(6) 緩和ケア	25	Ⅲ	Ⅲ	

大項目	中項目	小項目	項目 通番	自己 評価	検証 結果		
2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組	1-2 調査研究事業	1-2-1 調査・臨床研究等推進	(1) 治験管理事務、治験コーディネーター業務推進のための人材育成、体制強化及び受託件数の増加	26	Ⅲ	Ⅲ	
			(2) 集積したエビデンスの活用	28	Ⅲ	Ⅲ	
		1-2-2 診療等の情報活用	(1) 医療総合情報システムの各種データの有効活用	27	Ⅳ	Ⅳ	
			(2) 集積したエビデンスの活用	28	Ⅲ	Ⅲ	
		1-2-3 保健医療情報の提供・発信	(1) 公開講座、医療相談会等の定期的開催	29	Ⅲ	Ⅲ	
			(2) 保健医療、健康管理等の情報提供	30	Ⅲ	Ⅲ	
		1-3 教育研修事業	1-3-1 卒後臨床研修等の充実	(1) 質の高い医療従事者の養成	31	Ⅲ	Ⅲ
				(2) 後期研修医（レジデント）に対する研修等	32	Ⅲ	Ⅲ
	1-3-2 看護学生、救急救命士等教育	(1) 医学生、看護学生の実習受け入れ	33	Ⅳ	Ⅳ		
		(2) 地域医療従事者への研修の実施及び充実	34	Ⅲ	Ⅲ		
	1-4 地域支援事業	1-4-1 地域医療への支援	(1) 地域医療水準の向上	35	Ⅲ	Ⅲ	
			(2) 医師不足、へき地医療機関への人的支援	36	Ⅲ	Ⅲ	
		1-4-2 社会的な要請への協力	37	Ⅲ	Ⅲ		
	1-5 災害等発生時の医療救護	1-5-1 医療救護活動の拠点機能	(1) (医療救護活動拠点機能確保、訓練実施)	38	Ⅲ	Ⅲ	
		1-5-2 他県等の医療救護への協力	(1) 大規模災害発生時のDMATの派遣	39	Ⅲ	Ⅲ	
	(2) DMATの質の向上と維持		40	Ⅲ	Ⅲ		
	2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組	2-1 効率的な業務運営体制の確立	2-1-1 簡素で効果的な組織体制の確立	(1) 効率的かつ効果的な組織体制の構築	41	Ⅲ	Ⅲ
(2) 各種業務のIT化の推進				42	Ⅲ	Ⅲ	
(3) アウトソーシング導入による合理化				43	Ⅲ	Ⅲ	
(4) 経営効率の高い業務執行体制の確立				44	Ⅲ	Ⅲ	
(5) 時差出勤制度の導入				45	Ⅲ	Ⅲ	
2-1-2 診療体制、人員配置の弾力的運用		(1) 弾力的運用の実施	46	Ⅲ	Ⅲ		
		(2) 効果的な体制による医療の提供	47	Ⅳ	Ⅳ		
		(3) 3法人間人事交流による適正な職員配置	48	Ⅲ	Ⅲ		
2-1-3 人事評価システムの構築		49	Ⅳ	Ⅳ			
2-1-4 事務部門の専門性の向上		50	Ⅲ	Ⅲ			

大項目	中項目	小項目	項目通番	自己評価	検証結果
業務運営の見直しや効率化による収支改善	2-2	2-2-1 多様な契約手法の導入	51	Ⅲ	Ⅲ
	2-2-2 収入の確保	(1) 効果的な病床管理、医療機器の効率的活用、DPCの推進	52	Ⅳ	Ⅳ
		(2) 未収金の発生防止対策等	53	Ⅲ	Ⅲ
	2-2-3	費用の削減	54	Ⅲ	Ⅲ
3	予算（人件費の見積含む）、収支計画及び資金計画		55	Ⅳ	Ⅳ
4	短期借入金の限度額		—	—	—
5	重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画		—	—	—
6	剰余金の使途		—	—	—
7	料金に関する事項（※年度計画に対応項目なし）		—	—	—
業務運営に関する事項 8 その他県の規則で定める	8-1 職員の就労環境の向上	(1) (病院全体の勤務環境の改善)	56	Ⅳ	Ⅳ
		(2) (保育所の受け入れ体制の強化)	57	Ⅲ	Ⅳ
		(3) (看護師の就労環境の整備)	58	Ⅳ	Ⅳ
		(4) (健康管理対策及びメンタルヘルス対策の充実)	59	Ⅲ	Ⅲ
	8-2	県及び他の地方独立行政法人との連携に関する事項	60	Ⅲ	Ⅲ
	8-3	医療機器・施設整備に関する事項	61	Ⅲ	Ⅲ
	8-4	法人が負担する債務の償還に関する事項	62	Ⅲ	Ⅲ

IV 項目別の状況

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組
 1-1 診療事業
 1-1-1 より質の高い医療の提供

中期目標	<p>3 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する事項</p> <p>3-1 診療事業 東濃地域の基幹病院として、近隣の医療機関との役割分担・連携のもと、高度・先進医療、急性期医療及び政策医療等の県民が必要とする医療を提供することを求める。</p> <p>3-1-1 より質の高い医療の提供 法人が有する医師、看護師、コメディカルや、先進かつ高度な医療機器といった人的・物的資源を有効に活用し、高度で専門的な医療に取り組むことで、県内医療水準の向上に努めること。 特に、医師、看護師、コメディカル等の優秀な医療スタッフの確保等に努め、提供する医療水準の維持・向上を図ること。 また、個々の患者に最適な医療を選択し、より質の高い医療を提供するため、科学的な根拠に基づく医療の推進、クリニカルパスの導入促進に努めること。 さらに、医療事故を未然に防ぎ、患者が安心して治療に専念できる安全・安心な医療と治療環境を提供できるよう、医療安全対策を徹底すること。</p>
------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
01	(1) 高度先進医療機器の計画的な更新・整備 CT (64・128スライス)、3T MRI、PET/CT、連続血管撮影装置、超音波診断装置、ESWL、内視鏡、手術用顕微鏡など高度医療機器を整備しているが、老朽化した機器も現存しているため、診療各科の需要に応じて新規購入及び更新を計画的に進める。	III	III	III	III	(1) 高度医療機器の計画的な更新・整備 ・高度医療機器については、平成24年度に作成した中期的な整備計画を基に更新・整備を行う。	(1) 高度医療機器の計画的な更新・整備 ・放射線機器更新計画に基づき、平成16年度に購入し老朽化が進んでいたX線デジタル画像撮影装置の更新を図った。更新により、画像処理速度上昇、低被ばく、高詳細画像の取得が可能となり、また充電式装置と組み合わせることで災害など救命救急撮影への対応が可能となった。 ・平成16年度までに購入し、故障時における一部保守部品の供給停止等、サービスサポート体制が不安定となっていたICU/CCU/HCUモニタリングシステムを更新した。更新により、より迅速に患者の状態を把握することができるほか、長時間の心電図波形保存が可能となりデータを連続して参照できるなど機能性が向上した。また、院内ネットワークと連携をとることにより、院内のどの電子カルテシステムからでも患者のバイタルサインの確認が可能となった。 ・その他、医療機器整備委員会において各診療科の要望を取りまとめて、費用対効果、需要と医療技術の進歩などを総合的に判断して購入予定機	III	III	

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																				
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																				
							器を選定し、新規購入や更新を計画的に進めた。 【更新・整備を実施した機器の稼働状況】																							
							<table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>整備年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>磁気共鳴画像装置</td> <td>H25</td> <td>747件</td> <td>4,800件</td> </tr> <tr> <td>乳腺X線撮影装置</td> <td>H25</td> <td>0件</td> <td>5,611件</td> </tr> <tr> <td>X線デジタル画像読取装置</td> <td>H26</td> <td>—</td> <td>7,927件</td> </tr> <tr> <td>自動採血管準備装置</td> <td>H26</td> <td>—</td> <td>1,640件</td> </tr> </tbody> </table> ※平成25・26年度に更新整備した主な機器が対象	機器名	整備年度	H25	H26	磁気共鳴画像装置	H25	747件	4,800件	乳腺X線撮影装置	H25	0件	5,611件	X線デジタル画像読取装置	H26	—	7,927件	自動採血管準備装置	H26	—	1,640件			
機器名	整備年度	H25	H26																											
磁気共鳴画像装置	H25	747件	4,800件																											
乳腺X線撮影装置	H25	0件	5,611件																											
X線デジタル画像読取装置	H26	—	7,927件																											
自動採血管準備装置	H26	—	1,640件																											
02	(2) 長時間勤務の改善等働きやすい環境の整備 職員の負担を軽減するため、職種毎の業務量に見合った人員数を確保し、時間外勤務の縮減に努めるとともに、職務に専念できる環境整備の一環として、院内保育所についてソフト面、ハード面の両面から充実を図り、働きやすい環境の整備及び職員の定着化を図る。	III	IV	III	IV	(2) 長時間勤務の改善等働きやすい環境の整備 ・医師の業務負担軽減のため、医師事務作業補助者の追加配置を推進する。 ・看護師については、夜勤専従看護師の採用、部分休業や短時間勤務の推奨により、ライフスタイルに柔軟に対応した勤務体制を整え、必要な人材の確保に努める。 ・職務に専念できる職場環境整備の一環として、院内保育所での夜間保育・休日保育・病児保育を引き続き実施するとともに、職員のニーズに応じた体制づくりに努める。また、利便性向上による利用者の増加及び利用時間の増加に対応するため、施設、備品等の整備を進める。	(2) 長時間勤務の改善等働きやすい環境の整備 ・医師の負担軽減対策として、医師事務作業補助者の配置を拡充した。平成26年4月には31名(20:1)を配置し、10月までには39名(15:1)に増員とした。また、内視鏡センター及び化学療法室に新たに人員を配置したほか、NCD登録業務や内科の業務拡充に伴う人員を整備した。 ※NCD:一般社団法人 National Clinical Database ・夜勤専従看護師の配置 平成25年度に制度化した救命救急センター及び救急外来にかかる夜勤専従看護師(非常勤職員)について、平成26年度も引き続き救急外来に1名配置した。 ・短時間就労制の実施 働き手のニーズに合わせて週1回、1日1時間以上の勤務を継続し、週20時間未満の勤務をしている非常勤職員を10名配置した。 また、正規職員においても育児部分休業及び育児短時間勤務を推奨し、21名が採用した。	III	IV	夜勤専従看護師の配置、短時間就労制の実施、休日保育の対応など、働きやすい職場環境に向けた努力は評価できる。																				
							【育児部分休業及び育児短時間勤務利用者数】 (各年度末時点)																							
							<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>8人</td> <td>16人</td> <td>21人</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H24	H25	H26	利用者数	8人	16人	21人															
区分\年度	H24	H25	H26																											
利用者数	8人	16人	21人																											

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																				
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																			
							<ul style="list-style-type: none"> 平成25年から民間会社に委託している保育業務は、引き続き夜間保育及び休日保育を行うとともに、病児保育の利便性を向上させた。 医師の職場環境や勤務体制などの意見や要望を聞く場として、院長が医師面談を実施した。 <p>【夜間保育】</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎週金曜日に対応可能 平成26年度実績 32回 <p>【休日保育】</p> <ul style="list-style-type: none"> 12月31日～1月3日を除く全ての日に対応可能 平成26年度実績 96回 <p>【院内保育所の運営状況】 (各年度末時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入所者数</td> <td>37人</td> <td>36人</td> <td>37人</td> </tr> <tr> <td>保育士数</td> <td>8人</td> <td>委託先に 必要人 数を配置</td> <td>委託先に 必要人 数を配置</td> </tr> </tbody> </table> <p>【病児保育利用実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延人数</td> <td>20人</td> <td>84人</td> <td>96人</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H24	H25	H26	入所者数	37人	36人	37人	保育士数	8人	委託先に 必要人 数を配置	委託先に 必要人 数を配置	区分\年度	H24	H25	H26	延人数	20人	84人	96人		
区分\年度	H24	H25	H26																										
入所者数	37人	36人	37人																										
保育士数	8人	委託先に 必要人 数を配置	委託先に 必要人 数を配置																										
区分\年度	H24	H25	H26																										
延人数	20人	84人	96人																										
03	<p>(3) 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成</p> <p>高度な医療を提供できる医師の養成のため、関連大学や学会における教育研修に積極的に参加させ、院内においてフィードバックできる体制の確立と研修医に対する充実した研修プログラムを実行する。</p>	III	III	III	III	<p>(3) 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> 名古屋大学、名古屋市立大学、岐阜大学等と連携し、関連する各診療科の医師の教育研修等を継続する。 岐阜県医師確保育成コンソーシアム及び名古屋大学卒後臨床研修・キャリア形成支援センターと連携し、医師としての資質向上を図る。 卒後臨床研修評価機構による認定施設の取得に 	<p>(3) 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> 医師確保対策として、名古屋大学及び名古屋市立大学、岐阜大学の病院実習生を積極的に受け入れた。 岐阜県医師確保育成コンソーシアムの補助金を活用し、BLS（一次救命処置）・ACLS（二次救命処置）、JPTEC（病院前外傷教育）を実施した。 	IV	IV																				

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																						
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																					
						<p>向け、各種規程や院内体制の整備等の具体的な取り組みを行う。</p> <p>・ 卒後臨床研修評価機構による認定施設の取得に向け、研修プログラムの見直しなどの取り組みを行った。</p> <p>・ 医師としての資質向上を目的として、病院が費用負担し、学会に延べ322人、研修、講習会及びセミナー等に延べ136人の医師が参加した。</p> <p>【参加学会】 日本消化器病学会総会、日本神経学会学術大会、日本皮膚科学会総会、日本整形外科学会学術総会、日本心臓血管内視鏡学会、日本肺癌学会学術集会 など</p> <p>【医学生の受け入れ状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">受け入れ元</th> <th colspan="4">受け入れ状況</th> </tr> <tr> <th colspan="2">実習</th> <th colspan="2">見学</th> </tr> <tr> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名古屋大学</td> <td>8名</td> <td>13名</td> <td>0名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>名古屋市立大学</td> <td>0名</td> <td>6名</td> <td>12名</td> <td>20名</td> </tr> <tr> <td>岐阜大学</td> <td>1名</td> <td>5名</td> <td>1名</td> <td>13名</td> </tr> <tr> <td>自治医科大学</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>3名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>9名</td> <td>24名</td> <td>16名</td> <td>36名</td> </tr> </tbody> </table> <p>【海外学会への派遣実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>派遣用務</th> <th>派遣先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>American College of Cardiology 2015 (米国心臓病学会2015)</td> <td>アメリカ合衆国 サンディエゴ</td> </tr> </tbody> </table> <p>【医師の研修派遣・受入実績人数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>派遣</td> <td>302人</td> <td>387人</td> <td>458人</td> </tr> <tr> <td>受入</td> <td>16人</td> <td>65人</td> <td>46人</td> </tr> </tbody> </table>	受け入れ元	受け入れ状況				実習		見学		H25	H26	H25	H26	名古屋大学	8名	13名	0名	2名	名古屋市立大学	0名	6名	12名	20名	岐阜大学	1名	5名	1名	13名	自治医科大学	0名	0名	3名	1名	合計	9名	24名	16名	36名	派遣用務	派遣先	American College of Cardiology 2015 (米国心臓病学会2015)	アメリカ合衆国 サンディエゴ	区分\年度	H24	H25	H26	派遣	302人	387人	458人	受入	16人	65人	46人			
受け入れ元	受け入れ状況																																																														
	実習		見学																																																												
	H25	H26	H25	H26																																																											
名古屋大学	8名	13名	0名	2名																																																											
名古屋市立大学	0名	6名	12名	20名																																																											
岐阜大学	1名	5名	1名	13名																																																											
自治医科大学	0名	0名	3名	1名																																																											
合計	9名	24名	16名	36名																																																											
派遣用務	派遣先																																																														
American College of Cardiology 2015 (米国心臓病学会2015)	アメリカ合衆国 サンディエゴ																																																														
区分\年度	H24	H25	H26																																																												
派遣	302人	387人	458人																																																												
受入	16人	65人	46人																																																												

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項	
04	(4) 認定看護師や専門看護師の資格取得の促進 認定看護師や専門看護師の資格取得のための研修 を計画的に実施する。	III	III	III	III	(4) 認定看護師や専門看護師の資格取得の促進 ・資格取得のための研修を計画的に実施するなど の支援を行う。 「認知症認定看護師」 「糖尿病認定看護師」 「皮膚・排泄ケア認定看護師」 「がん専門看護師」	(4) 認定看護師や専門看護師の資格取得の促進 ・ 専門看護師と認定看護師の資格取得および更新 のための支援を継続した。 ・ 「感染管理」「集中ケア」「新生児集中ケア」「が ん性疼痛看護」「皮膚・排泄ケア」の各分野1名、 また「がん看護」の専門分野で1名が資格を更新 した。 ・ 「感染管理」の認定看護師の受験に向けて1名 の支援を行った。 ・ 岐阜県立看護大学に「がん専門」看護師(CNS) 資格取得のために通学している職員については、 昨年度同様、引き続き支援を行った。	III	III		
【認定看護師・専門看護師数】(各年度末時点)											
		区分		分野		H24	H25	H26			
						人数	人数	人数			
		認定		皮膚・排泄ケア		2人	2人	2人			
				集中ケア		2人	2人	2人			
				緩和ケア		1人	1人	1人			
				がん化学療法看護		1人	1人	1人			
				がん性疼痛看護		1人	1人	1人			
				感染管理		2人	2人	2人			
				新生児集中ケア		1人	1人	1人			
				摂食・嚥下障害看護		1人	1人	1人			
				救急看護		1人	1人	1人			
				慢性心不全看護		-	1人	1人			
				脳卒中リハビリテー ション看護		-	1人	1人			
				糖尿病看護		-	-	1人			
				認知症看護		-	-	1人			
				認定看護管理者		-	-	1人			
				小計		12人	14人	17人			
		専門		がん看護		2人	2人	2人			
				急性・救急看護		-	1人	1人			

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価					評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項				自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
							合計		14人	17人	20人		
05	(5) コメディカルに対する専門研修の実施 国、岐阜県等が主催する講習会、研修会の参加支援、また、先進病院への出向研修支援を行い、各種認定資格の取得促進することで専門性を高め、優れた技能・知識を有する職員を養成する。	III	III	III	III	(5) コメディカルに対する専門研修の実施 ・最新の高度医療に対応できる技術・知識を有する職員を養成するため、引き続き厚生労働省、岐阜県等が主催する講習会、研修会への参加や各種認定資格の取得、維持のための支援を行う。						III	III
						【薬剤部】 <支援認定資格> ・各種専門薬剤師 ・各種認定薬剤師 ・指導薬剤師等 の資格取得、更新申請のための支援 <講習・研修等> ・各種学会、研修会等への参加を図り、薬の責任者として優れた技能・知識を有する薬剤師を養成する。							
						【中央放射線部】 <支援認定資格> ・マンモグラフィ撮像認定技師 ・IIR 専門診療放射線技師 ・医学物理士 ・放射線治療品質管理士 ・放射線治療専門放射線技師 <講習・研修等> ・全日本放射線技師学術大会 ・中部医療放射線技術学術大会 ・東海四県医療放射線技師学術大会 ・フレッシュセミナー ・日本放射線技師専門放射線技師認定機構統一講習会 ・日本放射線治療品質管理機構放射線治療品質管理講習会 ・高精度放射線治療ワークショップ							
						【臨床検査科】 <支援認定資格> ・認定臨床微生物検査技師 ・細菌検査二級管理検査士							
						【薬剤部】 医療薬学会指導薬剤師 資格取得 1名 ICD 資格取得 1名 がん薬物療法認定薬剤師 資格取得 1名 緩和薬物療法認定薬剤師 資格取得 2名 漢方薬・生薬認定薬剤師 資格取得 1名 小児薬物療法認定薬剤師 資格取得 1名 NST (栄養サポートチーム) 専門栄養士 資格取得 2名 その他 糖尿病療養指導士など、資格取得または最新知識の取得のためのセミナー、学会への参加を多数支援 (34名)							
						【中央放射線部】 マンモグラフィ撮像認定技師 資格取得 1名 資格更新 2名 X線CT認定技師 資格取得 1名 臨床実習指導者 資格取得 1名 第1種放射線技師主任者試験 資格取得 1名 放射線医薬品取扱ガイドライン講習 1名参加 PET研修セミナー 1名参加 その他 治療専門技術認定機構講習会など資格維持または最新知識の取得のためのセミナー、学会への参加を支援							
						【臨床検査科】 認定臨床微生物検査技師 資格認定 1名 細菌検査二級管理検査士 資格認定 1名							

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																												
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																											
						<p><支援認定資格></p> <ul style="list-style-type: none"> ・細胞検査士 ・超音波検査士 ・認定輸血検査技師 ・感染制御認定臨床微生物検査技師 ・認定臨床微生物検査技師 ・認定血液検査技師 ・各種二級臨床検査士 ・その他各種学会認定資格 <p><講習・研修等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種行政機関、各種学術団体の主催する学会、研修会等 <p>【臨床工学部】</p> <p><講習・研修等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・体外循環技術認定士、呼吸療法認定士、透析療法認定士の資格更新のための学会、研修会等 <p>【リハビリテーション科】</p> <p><支援認定資格></p> <ul style="list-style-type: none"> ・心臓リハビリテーション指導士 ・J学会合同呼吸療法認定士 ・日本糖尿病療養指導士 <p><講習・研修等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・がいのリハビリテーション関連研修 ・高次脳機能障害支援事業こともなう、必要な知識、診療に関する研修会 ・内臓障害関連(呼吸、循環、代謝)に関する研修、講習会 ・手の外科(ハンドセラピー) 関連の知識、技術の習得 ・脳卒中急性期の作業療法士に対する更なる知識の習得 ・ICU、HCU 等急性期リハビリテーション知識、技術の習得 ・摂食、嚥下療法関連の知識、技術の習得 <p>【栄養管理部】</p> <p><支援認定資格></p> <ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病療養指導士 ・NST専門療法士 ・病態栄養専門師 <p><講習・研修会等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本糖尿病学会 	<table border="1"> <tr> <td>緊急臨床検査士</td> <td>資格認定 1名</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>資格維持または最新知識の取得のためのセミナー、学会への参加を支援(36名)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">【臨床工学部】</td> </tr> <tr> <td>透析安全管理責任者</td> <td>医療機器コミュニケーター1名</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>資格維持または最新知識の取得のためのセミナー、学会への参加を多数支援(26名)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">【リハビリテーション科】</td> </tr> <tr> <td>J学会合同呼吸療法認定士</td> <td>資格取得 2名</td> </tr> <tr> <td>がいのリハビリテーション研修</td> <td>4チーム(内PT11名 OT3名 ST2名) 参加</td> </tr> <tr> <td>心臓リハビリ関連学会</td> <td>8名参加</td> </tr> <tr> <td>ICU等急性期リハビリ研修会</td> <td>10名参加</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>リハビリ関連学会など、資格維持または最新知識の取得のためのセミナー、学会への参加を多数支援(21名)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">【栄養管理部】</td> </tr> <tr> <td>糖尿病療養指導士</td> <td>資格取得3名</td> </tr> <tr> <td>NST専門療法士</td> <td>資格取得2名</td> </tr> <tr> <td>病態栄養専門士</td> <td>資格取得1名</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>日本糖尿病学会など、資格維持または最新知識の取得のためのセミナー、学会への参加を支援(3名)</td> </tr> </table> <p>【コメディカル専門研修の参加人数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤師</td> <td>24人</td> <td>24人</td> <td>28人</td> </tr> <tr> <td>臨床検査技師</td> <td>64人</td> <td>33人</td> <td>39人</td> </tr> <tr> <td>放射線技師</td> <td>30人</td> <td>33人</td> <td>51人</td> </tr> <tr> <td>臨床工学士</td> <td>14人</td> <td>18人</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>リハビリ技師</td> <td>30人</td> <td>35人</td> <td>19人</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>5人</td> <td>20人</td> <td>41人</td> </tr> </tbody> </table>	緊急臨床検査士	資格認定 1名	その他	資格維持または最新知識の取得のためのセミナー、学会への参加を支援(36名)	【臨床工学部】		透析安全管理責任者	医療機器コミュニケーター1名	その他	資格維持または最新知識の取得のためのセミナー、学会への参加を多数支援(26名)	【リハビリテーション科】		J学会合同呼吸療法認定士	資格取得 2名	がいのリハビリテーション研修	4チーム(内PT11名 OT3名 ST2名) 参加	心臓リハビリ関連学会	8名参加	ICU等急性期リハビリ研修会	10名参加	その他	リハビリ関連学会など、資格維持または最新知識の取得のためのセミナー、学会への参加を多数支援(21名)	【栄養管理部】		糖尿病療養指導士	資格取得3名	NST専門療法士	資格取得2名	病態栄養専門士	資格取得1名	その他	日本糖尿病学会など、資格維持または最新知識の取得のためのセミナー、学会への参加を支援(3名)	区分\年度	H24	H25	H26	薬剤師	24人	24人	28人	臨床検査技師	64人	33人	39人	放射線技師	30人	33人	51人	臨床工学士	14人	18人	13人	リハビリ技師	30人	35人	19人	管理栄養士	5人	20人	41人		
緊急臨床検査士	資格認定 1名																																																																				
その他	資格維持または最新知識の取得のためのセミナー、学会への参加を支援(36名)																																																																				
【臨床工学部】																																																																					
透析安全管理責任者	医療機器コミュニケーター1名																																																																				
その他	資格維持または最新知識の取得のためのセミナー、学会への参加を多数支援(26名)																																																																				
【リハビリテーション科】																																																																					
J学会合同呼吸療法認定士	資格取得 2名																																																																				
がいのリハビリテーション研修	4チーム(内PT11名 OT3名 ST2名) 参加																																																																				
心臓リハビリ関連学会	8名参加																																																																				
ICU等急性期リハビリ研修会	10名参加																																																																				
その他	リハビリ関連学会など、資格維持または最新知識の取得のためのセミナー、学会への参加を多数支援(21名)																																																																				
【栄養管理部】																																																																					
糖尿病療養指導士	資格取得3名																																																																				
NST専門療法士	資格取得2名																																																																				
病態栄養専門士	資格取得1名																																																																				
その他	日本糖尿病学会など、資格維持または最新知識の取得のためのセミナー、学会への参加を支援(3名)																																																																				
区分\年度	H24	H25	H26																																																																		
薬剤師	24人	24人	28人																																																																		
臨床検査技師	64人	33人	39人																																																																		
放射線技師	30人	33人	51人																																																																		
臨床工学士	14人	18人	13人																																																																		
リハビリ技師	30人	35人	19人																																																																		
管理栄養士	5人	20人	41人																																																																		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証																										
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項			自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																									
						<ul style="list-style-type: none"> ・ 静脈栄養学会 ・ 褥瘡学会 ・ 食事療法学会 ・ 地域社会福祉担主管理栄養士研修会 ・ 専門資格更新のための学会・研修会への参加 ・ その他栄養関連学会・研修会への参加 	合計	167人	163人	191人																											
06	<p>(6) EBMの推進</p> <p>各診療科の疾患についてのガイドラインに基づいた診療の確立と院内での治療成績などの集積を充実しEBM (Evidence Based Medicine の略、科学的根拠に基づいた医療) の実践を推進する。</p>	III	III	III	III	<p>(6) EBMの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 診療ガイドラインの充実と診療実績の把握を行う。 ・ クリニカルパスについての実績を検証し、内容の充実を図る。 ・ クリニカルインディケータについては、昨年度の実績データ項目に基づき、経年的な比較を行う。また一般社団法人 日本病院会の「Q I プロジェクト」に参加し、他院との比較を行う。 	<p>(6) EBMの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各診療科において診療ガイドラインの充実を進めたことに伴い、ガイドラインに基づいた診療を行った。 ・ 診療の実情や使用頻度により整理し、クリニカルパスを検証・整理した。 ・ クリニカルインディケータについては、実績データ項目に基づき各診療科のデータを公表し、経年的に評価を行った。 ・ また、一般社団法人 日本病院会の「Q I プロジェクト」に参加し、定期的の実績データをウェブサイトにアップロードして、他院との比較ができることを可能とした。 <p>【診療科別クリニカルパスの内訳】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>診療科名</th> <th>パス数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産婦人科</td> <td>28件</td> </tr> <tr> <td>整形外科</td> <td>36件</td> </tr> <tr> <td>呼吸器科</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>外科・消化器外科</td> <td>26件</td> </tr> <tr> <td>循環器科</td> <td>12件</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>93件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>198件</td> </tr> </tbody> </table> <p>【クリニカルパス種類数・使用数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類数</td> <td>154種</td> <td>144種</td> <td>141種</td> </tr> <tr> <td>使用数</td> <td>5,941件</td> <td>6,457件</td> <td>6,522件</td> </tr> </tbody> </table>	診療科名	パス数	産婦人科	28件	整形外科	36件	呼吸器科	3件	外科・消化器外科	26件	循環器科	12件	その他	93件	計	198件	区分\年度	H24	H25	H26	種類数	154種	144種	141種	使用数	5,941件	6,457件	6,522件	III	III
診療科名	パス数																																				
産婦人科	28件																																				
整形外科	36件																																				
呼吸器科	3件																																				
外科・消化器外科	26件																																				
循環器科	12件																																				
その他	93件																																				
計	198件																																				
区分\年度	H24	H25	H26																																		
種類数	154種	144種	141種																																		
使用数	5,941件	6,457件	6,522件																																		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																		
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																	
07	<p>(7) 医療安全対策の充実</p> <p>医療安全部におけるインシデントレポートの集積分析及び事例の検討、アクシデントに対する迅速な対応を行い、毎月安全管理における検討と年2回の研修会及び各部署における検討会を行い事例及び対策などの共有化を図る。</p>	III	IV	IV	IV	<p>(7) 医療安全対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療の質および安全の確保のため、インシデント、アクシデント事例について分析（RCA、SHELL分析など）再発防止のための安全対策を検討する。 医療安全カンファレンスや多職種での院内医療安全ラウンドを通じて、組織横断的な医療安全活動を行う。 専従の医療安全管理者、リスクマネージャーの活動を支援し、医療安全に関する活動を充実する。 医療安全研修会や勉強会、医療安全推進週間を通じて医療安全に対する職員の意識を高める活動を行う。 平成24年度から取り組んでいる患者サポートカンファレンスを継続して実施する。 	<p>(7) 医療安全対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> インシデントレポートの集積・分析及び事例の検討を行い、再発防止に努めた。 医療安全部会、医療安全管理委員会を定期的に開催し、共有すべきインシデント事例を2～4事例/月を検討し、管理会議や医局会、看護部委員会等で注意喚起を行った。 多職種での院内医療安全ラウンドを1回/月行った。院内ラウンドチェック表を活用し、現場の改善活動に結び付く働きかけを行った。 <p>【インシデント報告数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>月平均</td> <td>265件</td> <td>289件</td> <td>305件</td> </tr> </tbody> </table> <p>【インシデント・アクシデント件数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インシデント</td> <td>3,169件</td> <td>3,473件</td> <td>3,661件</td> </tr> <tr> <td>アクシデント</td> <td>17件</td> <td>22件</td> <td>20件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,186件</td> <td>3,495件</td> <td>3,681件</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 11月21日から11月27日の医療安全推進週間には、「患者誤認防止、誤薬防止の啓発週間」として病院職員816名にアンケート調査を実施した。 医療安全研修会は、全職員参加を目標に実施した。欠席者には研修内容を録画したDVDを視聴させ周知を行った。 <p>【医療安全研修会開催実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>テーマ</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9/11</td> <td>医療事故を紛争化させないために ～医療紛争・医療裁判の実態を踏まえて～</td> <td>448人</td> </tr> <tr> <td>2/13</td> <td>院内医療チームの活動を知り、安心安全な医療につなげよう</td> <td>430人</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H24	H25	H26	月平均	265件	289件	305件	区分\年度	H24	H25	H26	インシデント	3,169件	3,473件	3,661件	アクシデント	17件	22件	20件	合計	3,186件	3,495件	3,681件	開催日	テーマ	参加人数	9/11	医療事故を紛争化させないために ～医療紛争・医療裁判の実態を踏まえて～	448人	2/13	院内医療チームの活動を知り、安心安全な医療につなげよう	430人	III	III	
区分\年度	H24	H25	H26																																								
月平均	265件	289件	305件																																								
区分\年度	H24	H25	H26																																								
インシデント	3,169件	3,473件	3,661件																																								
アクシデント	17件	22件	20件																																								
合計	3,186件	3,495件	3,681件																																								
開催日	テーマ	参加人数																																									
9/11	医療事故を紛争化させないために ～医療紛争・医療裁判の実態を踏まえて～	448人																																									
2/13	院内医療チームの活動を知り、安心安全な医療につなげよう	430人																																									

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証										
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項										
08	(8) 院内感染の発生原因の究明及び防止対策の確立のための体制整備 感染管理看護師を中心にサーベイランス、コンサルテーション、職員教育等を実施し、院内の感染防止対策に務める。	IV	III	III	III	(8) 院内感染の発生原因の究明及び防止対策の確立のための体制整備 ・入院患者や職員に感染した場合やアウトブレイク時における迅速かつ適切な対応（早期察知、早期介入、調査、分析、指導）を実践する。 ・職業感染対策や院内の感染対策の現状を評価し、より効果的な対策につながるよう ICT (Infection Control Team の略、感染防止対策チーム) の活動を充実する。 ・感染対策に関する全職員を対象とした研修会を年2回以上開催するとともに、欠席者に対して研修内容が伝達されるようにフォローアップを行う。 ・他の医療施設や保健所との連携を強化し、地域全体の感染対策の向上に努める。	(8) 院内感染の発生原因の究明及び防止対策の確立のための体制整備 ・ ICT 院内ラウンドの方法を検討し、感染防止対策地域連携加算チェック項目表を参考にチェックリストを作成し、評価内容の統一を図りラウンドを実施した。 ・ NICU における MRSA の新規発生について、院内ルールからアウトブレイクと判断し、監視培養を1週間に1回実施した。早期から ICT が感染対策の介入を行い、保菌のまま経過し3ヶ月で収束となった。 ・ インフルエンザ感染対策として報告体制の見直しを行い、ICT 通信等でスタッフに周知を行った。結果、感染者の対応ができたことでアウトブレイクは認めなかった。 ・ 抗 HIV 剤の配置薬変更に伴い、感染対策マニュアルの改訂と職員教育を行った。 ・ 感染防止対策加算 1-2 施設合同カンファレンスは、4回実施した。そのうち第3回目は、東濃保健所の参加による合同カンファレンスとなった。 ・ 感染対策教育講演会を、全職員参加を目標に実施した。参加できなかった職員に対して教育用 DVD を作成し、講演の教育をした。 ・ 保健所と連携し地域医療者を対象とした結核対策の講演会を実施した。	III	III											
							【感染対策教育講演会開催実績】													
							<table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>テーマ</th> <th>参加数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26.07.29</td> <td>みんなで学ぼう！ ～血液検査について～</td> <td>494人</td> </tr> <tr> <td>H26.12.4</td> <td>院内感染対策と肺結核の診断</td> <td>418人</td> </tr> </tbody> </table>			開催日	テーマ	参加数	H26.07.29	みんなで学ぼう！ ～血液検査について～	494人	H26.12.4	院内感染対策と肺結核の診断	418人		
開催日	テーマ	参加数																		
H26.07.29	みんなで学ぼう！ ～血液検査について～	494人																		
H26.12.4	院内感染対策と肺結核の診断	418人																		

1-1-2 患者・住民サービスの向上

中期目標	<p>3-1-2 患者・住民サービスの向上</p> <p>来院から診察、検査、会計等に至る全てのサービスの待ち時間の改善、快適性及びプライバシー確保に配慮した院内環境の整備、医療情報に関する相談体制の整備・充実など、病院が提供する全てのサービスについて患者の利便性の向上に努めること。</p> <p>また、病院運営に関し、患者のみならず地域住民の意見を取り入れる仕組みを作り、患者・住民サービスの向上を図ること。</p>
------	--

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証								
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項							
09	<p>(1) 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等</p> <p>診療時間帯の延長、検査機械の稼働率向上化、医師等の配置及び手術室の運用の改善等による手術実施体制の再整備により、診療待ち時間の短縮や検査、手術待ちの改善を図る。</p>	III	III	III	III	<p>(1) 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 診療待ちによる患者のストレス緩和のための手法を検討する。 ・ 2階総合案内の会計機能を充実させ、会計の待ち時間短縮を図る。 ・ 患者待ち時間調査を実施し、現状分析による改善策を立案する。 ・ 案内業務が円滑に行えるよう専門知識の習得等、職員のスキルアップを図る。 ・ 開業医の訪問活動を精力的に実施し、紹介率向上に努めるとともに、限られた医療資源を有効に活用するため、当院と開業医の連携体制、役割分担等を患者へ広報し、直来患者数の縮減を図る。また、開業医に対する逆紹介も積極的に推進する。 ・ 連携予約検査枠の拡大を行うとともに、放射線部職員も開業医の訪問活動に同行させ、より効果的な広報を行い、高度医療機器利用率の向上を図る。 	<p>(1) 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3月から中央採血室の稼働時間を15分早めて、患者の待ち時間の対策を行った。 ・ 早朝コンシェルジュ業務を引き続き8時から2名を配置することや、委託業者と連携して積極的な患者案内などを行い、診療待ちによる患者のストレス緩和に努めた。 ・ 混雑状況を見ながら窓口機能(受付、計算、支払)を適宜変更し、待ち時間の短縮を図った。 ・ 点在する外来駐車場を効率的に運用するため、駐車場利用者が集中する午前中に、駐車場管理の警備員の増員をし、駐車場入庫待ちによる混雑解消を図った。 ・ 2階総合案内にスタッフ1名を増員して会計機能を拡充し、それまで1階に集中していた会計業務を分散させることができた。 ・ 職員の患者案内業務の質の向上を目的として、「聴覚障がい者対応研修」を開催した。 参加者 22名(事務職、看護師等) <p>【平均待ち時間の状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平均待ち時間</td> <td>23分</td> <td>24分</td> <td>23分</td> </tr> </tbody> </table> <p>※待ち時間は予約時間からの平均遅延時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 逆紹介を推し進めるため、紹介状持参の促進と近隣のかかりつけ医との役割分担の違いについて 	項目\年度	H24	H25	H26	平均待ち時間	23分	24分	23分	III	III
項目\年度	H24	H25	H26														
平均待ち時間	23分	24分	23分														

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																
							<p>て各診療科の掲示板を利用して患者への周知の継続を行った。また、開業医の訪問活動を実施し、紹介率向上に努めた。</p> <p>訪問件数 61 件 新規登録医数 8 件</p> <ul style="list-style-type: none"> CT、MRIなどの検査枠の見直しをし、さらに開業医への訪問活動に中央放射線部の職員が同行して、CT、MRIなどの検査依頼を行った。 <p>【CT、MRI 検査件数の比較】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT件数</td> <td>26,350 件</td> <td>27,896 件</td> <td>28,159 件</td> </tr> <tr> <td>MRI件数</td> <td>8,646 件</td> <td>8,892 件</td> <td>9,392 件</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H24	H25	H26	CT件数	26,350 件	27,896 件	28,159 件	MRI件数	8,646 件	8,892 件	9,392 件							
区分\年度	H24	H25	H26																							
CT件数	26,350 件	27,896 件	28,159 件																							
MRI件数	8,646 件	8,892 件	9,392 件																							
10	<p>(2) 院内環境の快適性向上</p> <p>病室、待合室、トイレ等を計画的に改修、補修し快適な院内環境を提供するとともに患者のプライバシー確保に配慮した院内環境を整備する。また、治療効果を高めつつ、より快適な入院生活を送れるように栄養管理及び患者の嗜好を配慮した個人対応食を充実させる。</p>	III	III	III	III	<p>(2) 院内環境の快適性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 順次整備を進めてきた院内の施設や設備について、維持管理に努めるとともに患者からの改善要望に対しては、その内容を精査した上で、対応する。 治療効果を高め、より快適な入院生活を送ることができるよう、引き続き献立・食材の変更を行う。 食思不振で喫食量が低下した患者への聞き取りを実施し、喫食量増加を目指す。 栄養不良の疑われる患者に対してNSTの介入により早期改善を目指す。 	<p>(2) 院内環境の快適性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央診療棟の外来系統の空調機を整備し、外来患者等の快適性向上を図った。 治療効果を高め、より快適な入院生活を送ることができるよう、食種や、献立・食材の見直しを行った。 <ul style="list-style-type: none"> ① 嚥下食を3段階から4段階に細分化した。患者の嚥下状態に、より細かく対応することが可能となった。 ② 妊娠糖尿病患者用6分割食を見直した。 ③ 喫食調査より残量の多い献立を変更、分量の見直しを行った。 栄養不良の疑われる患者に対しNSTの早期介入により栄養状態の改善に努めた。また、喫食量の低下した患者へ食事の聞き取り調整を行い、喫食量増加に努めた。 <p>【喫食量の低下した患者への個別の聞き取り、NST介入件数の対前年度比較】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個別聞き取り</td> <td>96件/月</td> <td>96件/月</td> <td>92件/月</td> </tr> <tr> <td>NST介入</td> <td>41件/月</td> <td>37件/月</td> <td>33件/月</td> </tr> <tr> <td>NST新規介入</td> <td>14件/月</td> <td>16件/月</td> <td>16件/月</td> </tr> </tbody> </table>	項目\年度	H24	H25	H26	個別聞き取り	96件/月	96件/月	92件/月	NST介入	41件/月	37件/月	33件/月	NST新規介入	14件/月	16件/月	16件/月	III	III	<p>NSTによる患者へ食事の聞き取り調整などにより、きめ細かい医療の実現に努めていると評価できる。</p>
項目\年度	H24	H25	H26																							
個別聞き取り	96件/月	96件/月	92件/月																							
NST介入	41件/月	37件/月	33件/月																							
NST新規介入	14件/月	16件/月	16件/月																							

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証													
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項												
11	(3) 医療情報に関する相談体制の整備 医療費支払いに関する各種福祉制度の活用や転院相談等の医療情報に関する相談を、より受け易くできるような相談体制の整備、充実を図る。	III	III	III	III	(3) 医療情報に関する相談体制の整備 ・ 地域医療連携センター内の業務をさらに充実強化するため、毎月1回程度、医療連携担当と医療相談担当の情報交換会を開催し、相互の情報共有と問題点の洗い出しを行う。 ・ 岐阜県ソーシャルワーカー協会東濃支部研修会（情報交換会）を継続していくとともに、この研修会で得られた情報を患者や家族の医療相談に活用する。 ・ 緩和ケア病棟や精神科病棟を担当する相談員に対して、各種研修会の受講を推進し、知識と技能の強化を図りながら、より良いケアの提供を目指すとともに、転院調整や各種相談業務への対応を強化する。 ・ がん患者サロンを活用し、がん患者及びその家族に対し相談を行う。	(3) 医療情報に関する相談体制の整備 ・ 地域医療連携センター内の業務をさらに充実強化するため、毎月1回程度、医療連携担当と医療相談担当の情報交換会を開催し、相互の情報共有と問題点の洗い出しを行った。 ・ 患者や家族への医療相談の充実のため、専門知識の学習会や新施設の視察を通して相談員相互の資質向上に努めた。 ・ 岐阜県ソーシャルワーカー協会東濃支部研修会に参加し、東濃地域の医療相談員と意見交換をし、この研修会で得られた情報を患者や家族の医療相談に活用した。 参加実績6回 ・ がん患者サロンを活用し、がん患者及びその家族に対し相談を行った。 ・ よろず相談・かかりつけ医紹介センターを設置し、患者相談体制の充実を図った。	III	III													
							【相談件数】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療相談件数</td> <td>10,199件</td> <td>11,186件</td> <td>10,648件</td> </tr> <tr> <td>がんサロン相談件数</td> <td>168件</td> <td>140件</td> <td>127件</td> </tr> </tbody> </table>				項目\年度	H24	H25	H26	医療相談件数	10,199件	11,186件	10,648件	がんサロン相談件数	168件	140件	127件
項目\年度	H24	H25	H26																			
医療相談件数	10,199件	11,186件	10,648件																			
がんサロン相談件数	168件	140件	127件																			
12	(4) 患者中心の医療の提供 患者の権利（安全、平等で最善の医療、情報の開示を受け、自己決定できるなど）の保証と職員への周知、医療者としての倫理観の確立に努める。	III	III	III	III	(4) 患者中心の医療の提供 ・ 患者サポート体制カンファレンスなどを通じ患者からの要望等を把握・分析し、患者の権利の保証に努める。 ・ 昨年度オープンした患者図書室について、蔵書の増冊、近隣の図書館との連携推進等により充実を図る。	(4) 患者中心の医療の提供 ・ 患者サポートカンファレンスを毎週1回開催して、医療相談、クレーム事例など患者からの意見・要望を把握し、医療安全活動と合わせて、患者の権利の保障について検討した。 開催 47回 検討 86件 ・ 患者図書室通信を発行し、病気や薬等のコラムや本の紹介を患者図書室や外来などで行った。 ・ NPO法人「医療の質に関する研究会」より医療図書98冊が寄贈され、合計700冊の寄贈医療図書の活用を図った。また、退職医師からの寄付により医療、一般図書36冊を増冊し充実を図った。	III	III													

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																			
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																		
							<ul style="list-style-type: none"> 多治見市図書館職員を招いて患者図書室部会を行い、運営方法・改善について検討を行った。 <p>【患者図書室利用実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>9,832人</td> <td>10,736人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【カルテ開示請求件数・開示件数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>請求件数</td> <td>62件</td> <td>65件</td> <td>63件</td> </tr> <tr> <td>開示件数</td> <td>61件</td> <td>65件</td> <td>63件</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H25	H26	利用者数	9,832人	10,736人	区分\年度	H24	H25	H26	請求件数	62件	65件	63件	開示件数	61件	65件	63件			
区分\年度	H25	H26																										
利用者数	9,832人	10,736人																										
区分\年度	H24	H25	H26																									
請求件数	62件	65件	63件																									
開示件数	61件	65件	63件																									
13	(5) インフォームド・コンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進 説明と同意について院内での方針を明文化し、全職員にその意義を周知するとともにセカンドオピニオンについて院内や病院のホームページに掲載し、医療連携室を窓口として一元的に対応する。	III	III	III	III	(5) インフォームドコンセント・セカンドオピニオンの徹底 <ul style="list-style-type: none"> 昨年度、電子カルテ内に新設したIC（インフォームドコンセント）シートを活用し、インフォームドコンセントの確実な実施と記録を院内職員へ周知徹底していく。 セカンドオピニオンについて、院内や病院のホームページに掲載し、相談者からの申し出には、医療連携室を窓口として一元的に対応する。また、がんの種類別に医師を選任し、相談に応じる。 	(5) インフォームドコンセント・セカンドオピニオンの徹底 <ul style="list-style-type: none"> 電子カルテ内に新設したIC（インフォームドコンセント）シートを活用し、インフォームドコンセントの確実な実施と記録を院内職員へ周知徹底した。 セカンドオピニオンについては、院内や病院のホームページに案内掲示し、相談者からの申し出には、医療連携室を窓口として一元的に対応した。また、がんの種類別に医師を選任し、相談に応じた。 <p>【セカンドオピニオン実施件数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来受入</td> <td>12件</td> <td>1件</td> <td>8件</td> </tr> <tr> <td>他院紹介</td> <td>69件</td> <td>54件</td> <td>55件</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H24	H25	H26	外来受入	12件	1件	8件	他院紹介	69件	54件	55件	III	III							
区分\年度	H24	H25	H26																									
外来受入	12件	1件	8件																									
他院紹介	69件	54件	55件																									
14	(6) 患者や周辺住民を対象とした病院運営に関する満足度調査の病院運営への反映 地域住民等と病院とで構成する「多治見病院運営協議会」を定期的開催し、地域住民のニーズを把握し、病院運営に反映させる。	III	III	III	III	(6) 患者や周辺住民を対象とした病院運営に関する満足度調査の病院運営への反映 <ul style="list-style-type: none"> 地域住民等と病院とで構成する「多治見病院運営協議会」を開催し、地域住民のニーズを把握する。 外来及び入院患者を対象とした患者満足度調査を引き続き実施する。 収集した患者や地域住民からのニーズについては、 	(6) 患者や周辺住民を対象とした病院運営に関する満足度調査の病院運営への反映 <ul style="list-style-type: none"> 外来患者及び入院患者を対象とした患者満足度調査を、全国の病院を対象として調査を受託している民間機関に委託した。これにより、他の同規模病院との比較ができるとともに、患者が病院に求める要素にかかる満足度が把握できるように 	III	III																			

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証							
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項						
						積極的に病院運営に反映させる。	なり、今後取り組むべき課題が明確になった。 【調査結果】 ○満足度 <table border="1"> <tr> <td>入院</td> <td>88.7%</td> <td>(85.3%)</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>79.6%</td> <td>(79.3%)</td> </tr> </table> ※ ()は調査参加病院の平均値 ○外来の施設面（トイレ、診察室、待合室等）の満足度が非常に低い ・ 病院運営協議会を開催し、地域住民との意見交換を行った。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> H27.2.6 議題 ・地域の医療連携強化の取り組みについて ・院内ボランティアの活動について ・災害時における医療機能の強化について ・各種イベント等の開催について </div>	入院	88.7%	(85.3%)	外来	79.6%	(79.3%)			
入院	88.7%	(85.3%)														
外来	79.6%	(79.3%)														

1-1-3 診療体制の充実

中期目標	3-1-3 診療体制の充実 医療需要の質的・量的変化や新たな医療課題に適切に対応するため、患者動向や医療需要の変化に即して診療部門の充実や見直し、若しくは専門外来の設置や充実など診療体制の整備・充実を図ること。
------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
15	(1)患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実 患者動向や周辺医療機関の状況などに応じ、地域医療支援病院として医療資源の活用を図れるように医療連携室の充実と診療体制の整備を図る。	III	III	III	III	(1) 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実 ・医療連携センターと医事課が中心となり、院内各部門と連携しながら、患者動向や地域の医療機関の状況把握・データ分析、地域連携クリニックパスの運用、入院初期段階からの転院・退院調整等の充実に努める。	(1) 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実 ・医療連携予約の平日の受付時間を延長するとともに、土曜日の予約受付業務を開始した。 ・よらず相談・かかりつけ医紹介センターを設置し、患者相談体制の充実と、逆紹介の推進を行った。	III	III	

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																					
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																				
						<ul style="list-style-type: none"> 近隣病院の診療体制を把握し、効率的な病病連携を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> かかりつけ医へ患者の診療予定日をお知らせする仕組み（多治見シャトル）を構築した。 緩和ケアセンターを開設し、緩和ケア外来や緩和ケア病棟などを統括して迅速かつ適切な緩和ケアを提供するため体制を整備した。 地域から期待されるがん治療の統括を目的に、放射線治療センターを開設した。 <p>【紹介患者のうち医療連携予約の割合】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>51.9%</td> <td>54.0%</td> <td>56.8%</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 総合案内やポスターの掲示、配布用パンフレットを活用し、外来患者に専門外来を周知することのPRを継続した。 各分野間の連携を強化しながら、看護専門外来の活動を継続した。 <p>【平成26年度看護専門外来の利用状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>専門外来名</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん相談外来</td> <td>432件</td> </tr> <tr> <td>リンパ浮腫相談外来</td> <td>94件</td> </tr> <tr> <td>ストーマケア相談外来</td> <td>349件</td> </tr> <tr> <td>糖尿病フットケア外来</td> <td>17件</td> </tr> <tr> <td>栄養支援外来</td> <td>22件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>914件</td> </tr> </tbody> </table>	H24	H25	H26	51.9%	54.0%	56.8%	専門外来名	件数	がん相談外来	432件	リンパ浮腫相談外来	94件	ストーマケア相談外来	349件	糖尿病フットケア外来	17件	栄養支援外来	22件	計	914件			
H24	H25	H26																												
51.9%	54.0%	56.8%																												
専門外来名	件数																													
がん相談外来	432件																													
リンパ浮腫相談外来	94件																													
ストーマケア相談外来	349件																													
糖尿病フットケア外来	17件																													
栄養支援外来	22件																													
計	914件																													
16	<p>(2) 多様な専門職の積極的な活用 高度な専門性を有する職員を外部から登用するにあたり、その専門性に適した処遇が可能となる人事給与制度を構築する。さらに高度な専門性を有する職員が定年を迎えた場合の再雇用制度も構築する。</p>	III	III	III	III	<p>(2) 多様な専門職の積極的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成23年度に構築した人事給与制度や再雇用制度等を基に、必要な職員の確保に努める。 	<p>(2) 多様な専門職の積極的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 病院に必要とされる専門性や能力を有した職員を確保するため、正規職員として診療情報管理士1名を採用し、職員4名の同資格取得により、年度末で診療情報管理士の資格保持職員は、計11名となった。 さらに、職員2名の診療情報管理士資格取得に向けての受講開始支援を行った。 定年を迎えた職員については、希望者全員を再 	III	III																					

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
							雇用するとともに、組織にとって極めて有為な人材の場合には、非常勤の管理職員として再雇用し、円滑な病院運営を実施する体制を整備した。			

1-1-4 近隣の医療機関等との役割分担及び連携

中期 目標	<p>3-1-4 近隣の医療機関等との役割分担及び連携</p> <p>近隣の医療機関等との役割分担を明確にするとともに病病連携・病診連携を一層推進し、地域の実情に応じて東濃地域の基幹病院としての機能を引き続き発揮し、県民が求める医療を実施すること。さらに、退院後の療養に関する各種情報を提供することにより、医療から介護・福祉へと切れ目のないサービス提供の促進を図ること。</p>
----------	---

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証								
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項							
17	<p>(1) 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上</p> <p>近隣の医療機関との連携を強化し、地域医療支援病院としての要件である紹介率40%以上、逆紹介率60%以上の確保をはかるとともに、当院機器の共同利用、開放病床の普及を図る。近隣の医療機関がかかりつけ医としての役割を担うこと及び当院が二次医療病院であることを住民や地域医療機関に周知し、紹介率、逆紹介率のさらなる向上に努める。</p>	III	IV	IV	IV	<p>(1) 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外来待ち合いスペースに設置してある「医療連携登録医情報コーナー」を活用し、登録医の情報を提供するとともに、登録医等への訪問活動を継続的に実施する。 ・当院が急性期病院であることを地域の医療機関や住民に周知することにより、地域支援病院の指定に必要な紹介率・逆紹介率の確保を目指す。 ・近隣病院の診療体制を把握し、効率的な病病連携を推進する。 ・登録医等への訪問活動に放射線部職員が同行し、高度医療機器、開放病床の利用について、効果的なPRを行い利用の拡大を図る。 	IV	IV	<p>(1) 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外来待ち合いスペースに設置してある「医療連携登録医情報コーナー」を活用し、登録医の情報を提供するとともに、登録医等への訪問活動を継続的に実施した。 ・ 東濃可児地域にある8病院で「東濃・可児地域病病連携推進会議」を開催し、地域のそれぞれの持つ医療資源を繋ぎ、限られた医療資源を有効活用していく方策を講じていく場として今後も進めて行くことした。 ・ 平成26年度の紹介率については、対前年比で4.0%増と大きく増え、紹介患者の件数も、1,603件の増加となった。 ・ 医療連携予約の平日の受付時間を延長するとともに、土曜日の予約受付業務を開始した。 <p>【紹介率・逆紹介率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>62.6%</td> <td>65.3%</td> <td>69.3%</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H24	H25	H26	紹介率	62.6%	65.3%	69.3%
区分\年度	H24	H25	H26														
紹介率	62.6%	65.3%	69.3%														

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証																																											
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項			自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																										
							<table border="1"> <tr> <td>紹介案件数</td> <td>18,053件</td> <td>19,233件</td> <td>20,836件</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>82.8%</td> <td>80.8%</td> <td>86.0%</td> </tr> <tr> <td>逆紹介案件数</td> <td>21,023件</td> <td>20,698件</td> <td>19,472件</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 登録医等への訪問活動に放射線部職員が同行し、高度医療機器の利用についてPRを行い、利用の拡大を行った結果、高度医療機器予約数は、増加となった。 高度医療機器の予約状況の分析を行い、さらなる利便性の向上を図り、連携病院の医師が利用しやすい環境づくりを行った。 <p>【高度医療機器利用の年度比較】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT</td> <td>534件</td> <td>582件</td> <td>727件</td> </tr> <tr> <td>MR I</td> <td>478件</td> <td>537件</td> <td>560件</td> </tr> <tr> <td>RI</td> <td>110件</td> <td>124件</td> <td>113件</td> </tr> <tr> <td>PET</td> <td>91件</td> <td>78件</td> <td>54件</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 開放病床の利用に関しても、かかりつけ医の意見を聴取しながら、さらなる利便性の向上を目指した結果、昨年度の34件から41件と増加した。 <p>【開放型病床利用の年度比較】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医科</td> <td>0件</td> <td>14件</td> <td>29件</td> </tr> <tr> <td>歯科</td> <td>9件</td> <td>20件</td> <td>12件</td> </tr> </tbody> </table>	紹介案件数	18,053件	19,233件	20,836件	逆紹介率	82.8%	80.8%	86.0%	逆紹介案件数	21,023件	20,698件	19,472件	機器名\年度	H24	H25	H26	CT	534件	582件	727件	MR I	478件	537件	560件	RI	110件	124件	113件	PET	91件	78件	54件	区分\年度	H24	H25	H26	医科	0件	14件	29件	歯科	9件	20件	12件			
紹介案件数	18,053件	19,233件	20,836件																																																			
逆紹介率	82.8%	80.8%	86.0%																																																			
逆紹介案件数	21,023件	20,698件	19,472件																																																			
機器名\年度	H24	H25	H26																																																			
CT	534件	582件	727件																																																			
MR I	478件	537件	560件																																																			
RI	110件	124件	113件																																																			
PET	91件	78件	54件																																																			
区分\年度	H24	H25	H26																																																			
医科	0件	14件	29件																																																			
歯科	9件	20件	12件																																																			
18	(2) 地域連携クリニカルパスの整備普及 すでに進行中の脳卒中、大腿骨頸部骨折連携パスのさらなる改善、充実を目指す。5大がん、生活習慣などについて連携パスの作成、普及に努める。	III	III	III	III	(2) 地域連携クリニカルパスの整備普及 ・地域連携クリニカルパス（大腿骨頸部骨折、脳卒中、5大がん、狭心症・心筋梗塞、糖尿病）の運用促進のため、地域医療連携推進協議会や医療連携講演会を通じ、医師会、行政機関等へ理解と協力を求めている。 ・連携パスコーディネーター等を中心に、地域連携クリニカルパスの運用促進に向け院内外に対す	(2) 地域連携クリニカルパスの整備普及等 ・医師会、歯科医師会、薬剤師会、行政機関等の代表者を集め、4半期に1度のペースで地域医療連携推進協議会を開催し、地域連携クリニカルパスの運用促進のための理解と協力を求めた。 ・連携パスコーディネーターを中心に、円滑にパスが運用できるよう、院内スタッフへの周知や、医師会等を通じ運用促進を行った。	III	III																																													

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																				
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																			
						<p>るPR活動を重点的に行う。また、パス運用中患者のデータ管理等により円滑な運用を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域連携クリニカルパスの登録医、関係機関との合同委員会（カンファレンス）等を開催する。運用上の問題点や意見を集約し、適宜運用マニュアル等の見直しを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 大腿骨頸部骨折、脳卒中パスに関する運用上の問題点や要望等を把握するため、パス合同委員会を実施した。 <p>【大腿骨頸部骨折、脳卒中パス合同委員会】 実施日 6/26、10/16、2/19 委員 中津川市民病院・土岐市立総合病院</p> <p>【地域連携パス運用実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>パス名\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大腿骨頸部骨折</td> <td>80件</td> <td>103件</td> <td>111件</td> </tr> <tr> <td>脳卒中</td> <td>305件</td> <td>280件</td> <td>263件</td> </tr> <tr> <td>5大がん</td> <td>5件</td> <td>9件</td> <td>9件</td> </tr> <tr> <td>狭心症・心筋梗塞</td> <td>84件</td> <td>98件</td> <td>112件</td> </tr> <tr> <td>糖尿病</td> <td>5件</td> <td>2件</td> <td>5件</td> </tr> </tbody> </table> <p>【共同指導・連携指導の実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>退院共同指導実績</td> <td>85件</td> <td>184件</td> <td>99件</td> </tr> <tr> <td>介護支援連携指導</td> <td>266件</td> <td>247件</td> <td>247件</td> </tr> </tbody> </table>	パス名\年度	H24	H25	H26	大腿骨頸部骨折	80件	103件	111件	脳卒中	305件	280件	263件	5大がん	5件	9件	9件	狭心症・心筋梗塞	84件	98件	112件	糖尿病	5件	2件	5件	項目\年度	H24	H25	H26	退院共同指導実績	85件	184件	99件	介護支援連携指導	266件	247件	247件		
パス名\年度	H24	H25	H26																																										
大腿骨頸部骨折	80件	103件	111件																																										
脳卒中	305件	280件	263件																																										
5大がん	5件	9件	9件																																										
狭心症・心筋梗塞	84件	98件	112件																																										
糖尿病	5件	2件	5件																																										
項目\年度	H24	H25	H26																																										
退院共同指導実績	85件	184件	99件																																										
介護支援連携指導	266件	247件	247件																																										
19	<p>(3) 地域の介護・福祉機関など退院後の療養に関する各種情報の提供 退院調整担当師長及び医療相談室を中心に近隣の医療機関、介護・福祉機関との連携に努める。</p>	III	III	IV	IV	<p>(3) 地域の介護・福祉機関など退院後の療養に関する各種情報の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療相談室会の定例開催などにより退院調整看護師と、医療相談員との緊密な連携体制を維持・強化し、退院支援の充実を図る。 退院前に医師や地域のケアマネージャーを交えた合同カンファレンスを開催し、地域との連携に努める。 	<p>(3) 地域の介護・福祉機関など退院後の療養に関する各種情報の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療相談室会を1週間に1度行うよう定例化したことで退院調整看護師・各相談員が情報を共有し、連携を強化できた。 退院前に医師、看護師、地域のケアマネージャーを交えた合同カンファレンスを開催し、地域との連携を強化するとともに、安全・安楽に在宅療養できるよう支援を行った。 <p>【相談対応件数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10,199件</td> <td>11,186件</td> <td>10,648件</td> </tr> </tbody> </table>	H24	H25	H26	10,199件	11,186件	10,648件	III	III	<p>地域の介護・福祉機関などとの連携は、多治見病院の大きな特徴であるため、今後を期待したい。</p>																													
H24	H25	H26																																											
10,199件	11,186件	10,648件																																											

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証							
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項						
							【合同カンファレンスの実績】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>351件</td> <td>431件</td> <td>346件</td> </tr> </tbody> </table>	H24	H25	H26	351件	431件	346件			
H24	H25	H26														
351件	431件	346件														

1-1-5 重点的に取り組む医療

中期 目標	<p>3-1-5 重点的に取り組む医療</p> <p>高度・先進医療、急性期医療及び政策医療といった他の医療機関においては実施が困難ではあるが県民が必要とする医療を、岐阜県立多治見病院として重点的に実施すること。</p> <p>特に、「救命救急医療」、「急性期医療」、「母子周産期医療」、「がん診療拠点」など高度で先進的な医療を提供するとともに、「精神科医療」、「感染症医療」など政策医療を提供すること。</p>
----------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																							
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																						
20	<p>(1) 救命救急医療</p> <p>救命救急センターと各診療科の緊密な連携による24時間を通しての受け入れ体制をさらに充実する。</p> <p>また、ドクターカーなどを活用して先進的な地域救急システムの構築に取り組む。</p>	IV	III	III	III	<p>(1) 救命救急医療</p> <p>・救命救急センターと各診療科の緊密な連携により、引き続き受け入れ体制の維持及びさらなる充実に努める。</p>	<p>(1) 救命救急医療</p> <p>・近隣の医療機関との役割分担の推進、救命救急センターと各診療科の連携により、ほぼ全ての救急車を受け入れ、地域の要望に応えた。</p> <p>【救命救急医療受入実績（延患者数及び病床利用率）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種</th> <th colspan="2">H24</th> <th colspan="2">H25</th> <th colspan="2">H26</th> </tr> <tr> <th>項</th> <th>延患者数</th> <th>病床利用率</th> <th>延患者数</th> <th>病床利用率</th> <th>延患者数</th> <th>病床利用率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ICU</td> <td>1,453</td> <td>49.8%</td> <td>1,690</td> <td>57.9%</td> <td>1,740</td> <td>59.6%</td> </tr> <tr> <td>CCU</td> <td>859</td> <td>78.4%</td> <td>878</td> <td>80.2%</td> <td>906</td> <td>82.7%</td> </tr> <tr> <td>HU</td> <td>2,135</td> <td>65.0%</td> <td>2,089</td> <td>63.6%</td> <td>1,887</td> <td>57.4%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,447</td> <td>60.9%</td> <td>4,657</td> <td>63.8%</td> <td>4,533</td> <td>62.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【救急車受入台数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受入台数</td> <td>4,368台</td> <td>4,443台</td> <td>4,524台</td> </tr> <tr> <td>一日平均台数</td> <td>12.0台</td> <td>12.2台</td> <td>12.4台</td> </tr> </tbody> </table>	種	H24		H25		H26		項	延患者数	病床利用率	延患者数	病床利用率	延患者数	病床利用率	ICU	1,453	49.8%	1,690	57.9%	1,740	59.6%	CCU	859	78.4%	878	80.2%	906	82.7%	HU	2,135	65.0%	2,089	63.6%	1,887	57.4%	計	4,447	60.9%	4,657	63.8%	4,533	62.1%	区分\年度	H24	H25	H26	受入台数	4,368台	4,443台	4,524台	一日平均台数	12.0台	12.2台	12.4台	III	III	
種	H24		H25		H26																																																											
項	延患者数	病床利用率	延患者数	病床利用率	延患者数	病床利用率																																																										
ICU	1,453	49.8%	1,690	57.9%	1,740	59.6%																																																										
CCU	859	78.4%	878	80.2%	906	82.7%																																																										
HU	2,135	65.0%	2,089	63.6%	1,887	57.4%																																																										
計	4,447	60.9%	4,657	63.8%	4,533	62.1%																																																										
区分\年度	H24	H25	H26																																																													
受入台数	4,368台	4,443台	4,524台																																																													
一日平均台数	12.0台	12.2台	12.4台																																																													

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																				
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																			
							<ul style="list-style-type: none"> ドクターカーについては、担当スタッフの減少により定期運行業務を停止し緊急要請には対応を行っているが、要請は0件だった。 <p>【ドクターカー稼働実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出動件数</td> <td>251件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> </tbody> </table>	項目\年度	H24	H25	H26	出動件数	251件	0件	0件																																														
項目\年度	H24	H25	H26																																																										
出動件数	251件	0件	0件																																																										
21	<p>(2) 心臓血管疾患医療 循環器内科、心臓血管外科および救命救急センターが連携し、専門的医療を提供する体制の充実を図る。 さらに病所連携など地域医療機関との関係をいっそう深める。</p>	III	II	III	III	<p>(2) 心臓血管疾患医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 急性期心臓疾患血管疾患に対応するため、24時間体制で医師を待機させる。 昨年度運用件数が増大した狭心症・心筋梗塞地域連携クリニカルパスについては、循環器内科の勉強会等を通じ、登録医から運用上の問題点、要望等を聴取した上で、必要に応じてマニュアル等の見直し等を行い、さらなる運用拡大と充実を図る。 	<p>(2) 心臓血管疾患医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 常勤外科医師数が減少する中、大学病院の全面的な支援を受け、必要な診療体制を維持した。 <p>【心臓血管手術症例数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>虚血性心疾患</td> <td>12件</td> <td>26件</td> <td>18件</td> </tr> <tr> <td>弁膜症</td> <td>32件</td> <td>22件</td> <td>26件</td> </tr> <tr> <td>大動脈</td> <td>4件</td> <td>14件</td> <td>16件</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>29件</td> <td>18件</td> <td>34件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>77件</td> <td>80件</td> <td>94件</td> </tr> </tbody> </table> <p>【手術・検査件数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>心カテ</td> <td>999件</td> <td>989件</td> <td>1,028件</td> </tr> <tr> <td>PCI※</td> <td>387件</td> <td>398件</td> <td>411件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※PCI：冠動脈形成術</p> <p>【循環器系】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アブレーション</td> <td>40件</td> <td>63件</td> <td>72件</td> </tr> <tr> <td>PMI※</td> <td>66件</td> <td>53件</td> <td>68件</td> </tr> <tr> <td>ICD※</td> <td>9件</td> <td>5件</td> <td>16件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※PMI：ペースメーカー埋込 ICD：植え込み型除細動器</p> <ul style="list-style-type: none"> 狭心症・心筋梗塞地域連携パスの症例数を増や 	区分\年度	H24	H25	H26	虚血性心疾患	12件	26件	18件	弁膜症	32件	22件	26件	大動脈	4件	14件	16件	その他	29件	18件	34件	合計	77件	80件	94件	区分\年	H24	H25	H26	心カテ	999件	989件	1,028件	PCI※	387件	398件	411件	区分\年	H24	H25	H26	アブレーション	40件	63件	72件	PMI※	66件	53件	68件	ICD※	9件	5件	16件	III	III
区分\年度	H24	H25	H26																																																										
虚血性心疾患	12件	26件	18件																																																										
弁膜症	32件	22件	26件																																																										
大動脈	4件	14件	16件																																																										
その他	29件	18件	34件																																																										
合計	77件	80件	94件																																																										
区分\年	H24	H25	H26																																																										
心カテ	999件	989件	1,028件																																																										
PCI※	387件	398件	411件																																																										
区分\年	H24	H25	H26																																																										
アブレーション	40件	63件	72件																																																										
PMI※	66件	53件	68件																																																										
ICD※	9件	5件	16件																																																										

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																															
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																														
							し、円滑に運用した。 ・ パスコーディネーターによる予約管理、統計処理、患者への説明の充実等に取り組んだ結果、件数が飛躍的に増大した。 【狭心症・心筋梗塞パス運用実績】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パス運用件数</td> <td>98件</td> <td>112件</td> </tr> <tr> <td>登録医師数</td> <td>65名</td> <td>72名</td> </tr> </tbody> </table>	項目\年度	H25	H26	パス運用件数	98件	112件	登録医師数	65名	72名																								
項目\年度	H25	H26																																						
パス運用件数	98件	112件																																						
登録医師数	65名	72名																																						
22	(3) 母子周産期医療 地域周産期母子医療センターとして二次診療の24時間を通しての受け入れ体制を維持するため、スタッフの増員、労働環境の向上に努める。	III	III	III	III	(3) 母子周産期医療 ・ 地域周産期母子医療センターとして、ハイリスク妊娠や分娩に対し、24時間対応出来る体制を継続する。また、現在の診療体制を維持、充実させるために、今後も継続して医師、助産師の確保、増員に努める。	(3) 母子周産期医療 ・ 地域周産期母子医療センターとして、ハイリスク妊娠や分娩に対し、24時間対応できる体制を維持確保した。現在の診療体制を維持、充実させるために継続して医師、助産師の確保、増員に努めた。 【周産期母子医療センターの主な実績】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分娩件数</td> <td>457件</td> <td>461件</td> <td>494件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">年間 入院 者数</td> <td>NICU</td> <td>248名</td> <td>253名</td> <td>275名</td> </tr> <tr> <td>GCU</td> <td>462名</td> <td>449名</td> <td>461名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>産科</td> <td>593名</td> <td>703名</td> <td>571名</td> </tr> <tr> <td>母胎搬送件数</td> <td>58件</td> <td>75件</td> <td>69件</td> </tr> <tr> <td>新生児搬送件数</td> <td>83件</td> <td>110件</td> <td>78件</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H24	H25	H26	分娩件数	457件	461件	494件	年間 入院 者数	NICU	248名	253名	275名	GCU	462名	449名	461名		産科	593名	703名	571名	母胎搬送件数	58件	75件	69件	新生児搬送件数	83件	110件	78件	III	III	
区分\年度	H24	H25	H26																																					
分娩件数	457件	461件	494件																																					
年間 入院 者数	NICU	248名	253名	275名																																				
	GCU	462名	449名	461名																																				
	産科	593名	703名	571名																																				
母胎搬送件数	58件	75件	69件																																					
新生児搬送件数	83件	110件	78件																																					
23	(4) がん診療拠点 地域がん診療拠点病院として地域の医療従事者を含めた研修に積極的に取り組む。がん連携パスなどによって地域連携を推進し、がん診療の均てん化を図る。	III	III	IV	IV	(4) がん診療拠点 ・ 高精度放射線治療システム（ノバリスTx）による前立腺IMRT、脳SRT・脳SRS、肺定位放射線治療を安定的に実施する。 ・ 平成24年度に運用を開始した県内統一のがん地域連携クリニカルパスについて、運用の拡大を図る。 ・ がん治療に関する臨床指標について経年的な比較を行う。	(4) がん診療拠点 ・ 県内統一のがん地域連携クリニカルパスについて、地域医療機関への運用推進を行った。 ・ 院内外の講演会や研修会において、がん治療に関するテーマを積極的に取り上げ、情報発信を行った。 ・ パスコーディネーターによるパス対象者の抽出し、医師への照会を行いながらパス適用者拡大に取り組んだ。	IV	IV																															

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																									
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																								
							<ul style="list-style-type: none"> 地域から期待されるがん治療の統括を目的に、放射線治療センターを開設した。 患者負担を軽減できる高精度放射線治療システム（ノバリスTx）の利用促進を図った。 <p>【がん患者等の状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院患者数</td> <td>1,620人</td> <td>2,338人</td> <td>2,413人</td> </tr> <tr> <td>外来患者数</td> <td>1,098人</td> <td>1,183人</td> <td>1,252人</td> </tr> <tr> <td>手術件数</td> <td>1,064件</td> <td>1,159件</td> <td>1,098件</td> </tr> <tr> <td>化学療法件数</td> <td>979件</td> <td>1,012件</td> <td>936件</td> </tr> <tr> <td>放射線施行回数</td> <td>3,535件</td> <td>3,115件</td> <td>2,777件</td> </tr> </tbody> </table> <p>【がんパス件数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>5件</td> <td>9件</td> <td>9件</td> </tr> </tbody> </table> <p>【高精度放射線治療システム（ノバリスTx）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>患者数</td> <td>154名</td> <td>203名</td> </tr> <tr> <td>延べ件数</td> <td>3,493件</td> <td>3,957件</td> </tr> </tbody> </table>	項目\年度	H24	H25	H26	入院患者数	1,620人	2,338人	2,413人	外来患者数	1,098人	1,183人	1,252人	手術件数	1,064件	1,159件	1,098件	化学療法件数	979件	1,012件	936件	放射線施行回数	3,535件	3,115件	2,777件		H24	H25	H26		5件	9件	9件	項目	25年度	26年度	患者数	154名	203名	延べ件数	3,493件	3,957件		
項目\年度	H24	H25	H26																																															
入院患者数	1,620人	2,338人	2,413人																																															
外来患者数	1,098人	1,183人	1,252人																																															
手術件数	1,064件	1,159件	1,098件																																															
化学療法件数	979件	1,012件	936件																																															
放射線施行回数	3,535件	3,115件	2,777件																																															
	H24	H25	H26																																															
	5件	9件	9件																																															
項目	25年度	26年度																																																
患者数	154名	203名																																																
延べ件数	3,493件	3,957件																																																
24	<p>(5) 精神科医療・感染症医療</p> <p>急性期総合病院に併設した特徴を生かし、救急患者や他の医療機関で対応の困難な患者の治療を行える体制の充実を図る。</p>	III	IV	IV	IV	<p>(5) 精神科医療・感染症医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 結核、感染症病棟について引き続き、受け入れ体制を維持する。 精神科病棟の実績を検証し、より良い運用に努める。 精神、結核医療について院内外の理解を深めるための各種研修、啓蒙活動を行う。 精神科を設置している地域医療機関と東濃精神科医療連絡協議会を定期的に開催し、情報交換等による精神科医療の充実に努める。 	<p>(5) 精神科医療・感染症医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 結核以外の2類感染症の受け入れ件数は0件であった。東濃地域における新型インフルエンザに係る検討会に参加し、受け入れ状況の確認ができた。引き続き結核、感染症病棟の受け入れ体制の整備、維持を行う。 行動制限最小化委員会を毎月開催し、患者の病状改善、行動制限の状況の適切性及び行動制限最小化のための検討を行った。 精神科病棟に入院している医療保護入院者の退院促進に向けた取り組みを推進するため、退院後の生活環境に関わる者や退院後の医療関係者などを参加者とした医療保護入院者退院支援委員会を 	III	IV	東濃地域で大規模な感染症対策の研修会を実施できていること、また結核、感染症の患者受け入れ実績を維持していることは評価できる。																																								

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証												
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項											
						設置した。 平成26年度 10回開催 患者18名支援 ・当院医師及び外部講師による感染症対策の研修会を、院内職員及び院外医療関係機関を対象に2回実施した。 7月29日 参加 494人 12月4日 参加 418人 ・ITC通信を隔月発行し、院内感染防止などの啓蒙を行った。 ・県が開催した新型インフルエンザ等発生における会議及び緊急連絡の訓練に参加し、情報共有と連絡体制の確認を行った。 ・平成25年度に作成した診療継続計画の内容の見直しを行い、感染対策委員会を通じて院内の周知を図った。 ・エボラ出血熱対策として、玄関等に帰国者へのポスター掲示と救急外来玄関前にある発熱待機室の利用の啓蒙をし、職員へも情報提供・周知を行った。															
						【患者の受け入れ実績】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>病種\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>結核、感染症</td> <td>1,933人</td> <td>2,283人</td> <td>3,023人</td> </tr> <tr> <td>精神科</td> <td>5,400人</td> <td>7,274人</td> <td>6,654人</td> </tr> </tbody> </table>	病種\年度	H24	H25	H26	結核、感染症	1,933人	2,283人	3,023人	精神科	5,400人	7,274人	6,654人			
病種\年度	H24	H25	H26																		
結核、感染症	1,933人	2,283人	3,023人																		
精神科	5,400人	7,274人	6,654人																		
25	(6) 緩和ケア 緩和ケア認定看護師、がん疼痛認定看護師を中心に、地域の医療機関と連携した緩和ケアを提供していく。	IV	III	III	III	(6) 緩和ケア ・緩和ケア病棟入院患者の積極的な受入れに努め、入院患者の増加を図る。 ・がん在宅緩和ケア地域連携推進事業を活用した在宅支援診療所、訪問看護ステーション等を地図上に表示した在宅ケアマップの作成、岐阜大学医学部附属病院（岐阜県がん連携拠点病院）主導による県内統一の緩和ケア地域連携クリニックパスの構築を進める。	(6) 緩和ケア ・在宅緩和ケア体制構築のため、講演会、研修会、勉強会を通じ、地域全体の医療従事者のスキルアップを図るとともに診療所・訪問看護ステーション・ケアマネジャーなどとの緊密な連携を推進した。 緩和ケア市民公開講座 10/11 緩和ケア研修会（医師対象） 9/6、9/7 緩和ケア勉強会 4/10、5/8、8/21、10/15、11/13、12/11、1/8の全7回	III	III												

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証												
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項											
						東部地域緩和ケア研究会 4/5 ・ がん在宅緩和ケア地域連携推進事業を活用した在宅支援診療所、訪問看護ステーション等を地図上に表示した在宅緩和ケアマップを作成した。 ・ 県内統一の緩和ケア地域連携クリニカルパスを作成した。 ・ 緩和ケアセンターを開設し、「緩和ケア外来」や「緩和ケア病棟」などを統括して迅速かつ適切な緩和ケアを提供するため体制を図った。 【緩和ケアの患者動向】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院患者数</td> <td>3,981人</td> <td>4,077人</td> <td>3,806人</td> </tr> <tr> <td>外来患者数</td> <td>138人</td> <td>132人</td> <td>139人</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H24	H25	H26	入院患者数	3,981人	4,077人	3,806人	外来患者数	138人	132人	139人			
区分\年度	H24	H25	H26																		
入院患者数	3,981人	4,077人	3,806人																		
外来患者数	138人	132人	139人																		

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組
 1-2 調査研究事業
 1-2-1 調査及び臨床研究等の推進

中期 目標	3-2 調査研究事業 3-2-1 調査及び臨床研究等の推進 高度・先進医療の各分野において、疫学調査や診断技法・治療法の開発、臨床応用のための研究を推進すること。 県及び東濃地域の医療の水準の向上に寄与する観点から、大学等の研究機関や企業との共同研究などを促進すること。
----------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
26	(1) 治験や調査研究事業に積極的に参画できるように治験管理事務、治験コーディネーター業務を推進するための人材を育成し体制の強化、受託件数の増加を図る。 平成20年度実績 1件 平成21年度見込 1件	III	III	III	III	・ 治験や調査研究事業に積極的に参加できるように治験管理業務、治験コーディネーター業務を推進する。また、各CRO（医薬品開発業務受託機関）を活用し、人材の育成、体制強化を図るとともに、治験参加の有益性を周知し、受託件数の増加を図る。	(1) 治験管理部門が中心となり、治験募集と担当診療科調整の支援を行うため、医薬品開発業務受託機関から照会のあった案件について、該当医師に情報提供を行った。 (平成26年度情報提供実績：15件)	III	III	

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																
	平成26年度に向け院内の体制を強化し、受託件数の増加に努める。					・大学等の関係機関と連携し、各種臨床研究を実施する。	【治験件数】																			
							<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>治験実施件数</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>治験症例件数</td> <td>0件</td> <td>13件</td> <td>25件</td> </tr> <tr> <td>受託研究件数</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H24	H25	H26	治験実施件数	1件	1件	1件	治験症例件数	0件	13件	25件	受託研究件数	1件	1件	0件			
区分\年度	H24	H25	H26																							
治験実施件数	1件	1件	1件																							
治験症例件数	0件	13件	25件																							
受託研究件数	1件	1件	0件																							

1-2-2 診療等の情報の活用

中期目標	3-2-2 診療等の情報の活用 電子カルテシステムを中心とする医療総合情報システムをより有効に活用し、診療等で得た情報を岐阜県立多治見病院で提供する医療の質の向上に活用するとともに、他の医療機関への情報提供を行うこと。
------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
27	<p>(1) 医療総合情報システムに蓄積された各種医療データの有効活用</p> <p>医療情報システムに蓄積された各種医療データを分析し、医療情報として提供することにより院内の医療従事者の総合的なレベルアップを図る。</p> <p>また、その情報を地域の医療機関へ提供することにより、地域医療の活性化を図るための仕組みづくりを検討する。</p>	III	III	IV	IV	<p>(1) 医療総合情報システムに蓄積された各種医療データの有効活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在院日数、入院収益等の状況分析を継続するとともに、診療報酬の改定状況を踏まえた分析を行い、今後の病院運営を決定する上で判断材料とする。 ・経営分析システムを活用し、病院の現状を明確化することにより、経営向上、医療の質向上を図る。 ・一般社団法人 日本病院会の「Q I プロジェクト」に参加し、臨床指標を他院と比較・分析することで、医療の質の向上を図る。 ・診療情報管理士資格取得のための通信教育を新たに受講させる。受講料等は病院が負担し、資格取得の支援を行う。 ・医療連携関連データ（紹介・逆紹介率、高度医療機器・開放型病床利用状況等）について地域医療連携推進協議会等を通じ、医師会をはじめとする医療関係機関、行政機関と情報を共有し、医療機関ごとの役割の明確化や地域連携クリニカルパスの活用等により、医療連携の推進を図る。 	<p>(1) 医療総合情報システムに蓄積された各種医療データの有効活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手術指数、診療単価の推移について継続して診療報酬委員会において取り組みを継続し、在院日数の短縮、診療単価増加に努めた。 ・DPC 係数増加、収益増加のため、後発医薬品の採用率アップに向け、薬剤部を中心に、院内全体として後発品の使用に努め、係数増加を図った。 ・在院日数短縮により、延べ患者数は減少したものの、新規の入院患者は確保できた。また、7対1看護体制も実現でき、効率的に安定して対応することが可能となった。 ・日本病院会のC I 事業に参加し、また継続してC I、Q I データについてホームページ上での公表を継続して行った。 ・診療単価(一般急性期) H24 58,533 円 H25 60,926 円 H26 64,417 円 ・平均在院日数(一般急性期) H24 12.4 日 	IV	IV	

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
							H25 11.9日 H26 10.9日 ・ DPC機能評価係数Ⅱ H26 年度係数 0.0562 H27 年度係数 0.0643 ・ 医師会、歯科医師会、薬剤師会、行政機関等の代表者を集め、4半期に1度のペースで地域医療連携推進協議会を開催し、紹介・逆紹介、高度医療機器利用、開放型病床利用等の各種データを提供し、急性期病院と開業医、他の医療機関との地域における役割、医療資源の有効活用について検討を重ねた。 ・ 職員の診療情報管理士資格取得を支援し、平成26年度末に職員4名が認定試験に合格し、同資格の取得をした。また、新たに2名が受講を開始しており、今後順次増員予定となっている。 【地域医療連携推進協議会開催実績】 第1回(5/29)、第2回(9/9)、第3回(12/17)、第4回(3/5)			
28	(2) 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用 集積したエビデンスをカンファレンス、臨床研修、臨床研究等において活用するため、診療録管理体制の充実を図り、院内診療データを集積整理する。多職種による合同カンファレンスなどにより診療内容を共有化し、治療成績などの公表を推進する。また、一部を他の医療機関へ情報提供する。	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	(2) 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用 ・ 診療ガイドラインに基づいた治療を行なっていく。 ・ 問題症例はカンファレンスにおいて、集積したエビデンスに基づいた評価、検討を行い、よりよい治療を目指す。 ・ 学会などが主導する疾患別登録事業、がん登録事業に参加し、情報提供を行う。 ・ 年報やホームページなどで診療科の治療実績を公表する。 ・ 一般社団法人 日本病院会の「Q Iプロジェクト」に参加し、臨床指標（治療実績）の公表を推進する。また、治療実績を比較することで、集積した	(2) 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用 ・ ガイドラインに基づいた治療を行った。各々の症例に関してはカンファレンスで集積したエビデンスに基づき評価を行い成績向上に努めた。 ・ がん登録について、国立がんセンター主導の予後調査事業に前年に続き参加し、市町村からの予後情報の収集に努めた。今後、データ量の増加とともに、がん登録内容と予後データの分析、活用を進める。 ・ クリニカルインディケータについて、日本病院会のC I事業に参加し、また前年に引き続きC I, Q Iデータについて年報、ホームページ上での公表を継続して行った。	Ⅲ	Ⅲ	

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
						エビデンスについて分析する。				

1-2-3 保健医療情報の提供・発信

中期目標	3-2-3 保健医療情報の提供・発信 県民の健康意識の醸成を図るため、専門医療情報など病院が有する保健医療情報を、県民を対象とした公開講座やホームページなどにより情報発信を行うこと。
------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
29	(1) 公開講座、医療相談会等の定期的開催 一般市民向けの公開講座や医療に関する相談会を定期的に開催し、保健医療・各種福祉制度に関する情報の提供や発信を行う。 ○市民公開講座 平成20年度実績 1件 脳卒中について(参加者137名) 平成21年度見込 1件 骨粗しょう症について(参加者132名) 今後も年一回以上、より市民の関心度が高いテーマを厳選し、開催する。	III	III	III	III	(1) 公開講座、医療相談会等の定期的開催 ・一般市民向けの公開講座を開催し、医療に対する知識や関心を高める。 ・医師、看護師等が地域に出向き、地域住民を対象とした講座を継続的に実施する。 ・病院秋まつりにおいて、無料健康相談を実施する。また、健康相談以外に医療情報の提供となる催しを行う。 ・岐阜県難病団体連絡協議会の主催する難病医療福祉相談会などに、福祉相談員として参加する。	(1) 公開講座、医療相談会等の定期的開催 ・一般市民向けの公開講座を開催した。 ○市民公開講座 9/23 「足を守る、治そう、救おう。本当は怖い足の血行障害」 参加者数：702名 ○緩和ケア市民公開講座 10/11 「患者に寄り添う緩和ケア」 参加者数：223名 ・医師、看護師が講師となり「健康づくり講座」を多治見市内の公民館で11回開催した。 総参加者数：260名 ・11月2日に地域住民との交流を主たる目的として開催した病院秋まつりにおいて、来場者307名に血管年齢測定を行い、健康指導を行った。	III	III	
30	(2) 保健医療、健康管理等の情報提供 病院のホームページで最新の情報を発信するとともに関係機関や医療情報サイト等に情報を提供する。さらに病院広報誌では、掲載内容を厳選し、幅広い年齢層に対し最新の情報を提供する。	III	III	III	III	(2) 保健医療、健康管理等の情報提供 ・病院広報誌「けんびょういん」を発行し、最新の医療情報を発信する。 ・地域情報誌等への医療情報の提供に積極的に協力する。 ・ホームページに公開する情報を常に最新のものに更新する。	(2) 保健医療、健康管理等の情報提供 ・病院広報誌「けんびょういん」を8月及び1月に発行し最新の情報を発信した。 ・新聞、地域情報誌の医療特集記事に寄稿した。 ・「病院案内」のデザインを一新するため、他の医療機関の案内を参考に、基本デザインや当院の理念や医療の取り組みなどが伝わりやすいレイアウトを検討した。	III	III	

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
							<ul style="list-style-type: none"> 各部門内にスタッフを配置したことにより、ホームページに公開する情報を常に最新のものに更新することができた。 			

<p>1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組</p> <p>1-3 教育研修事業</p> <p>1-3-1 医師の卒後臨床研修等の充実</p>
--

<p>中期 目標</p>	<p>3-3 教育研修事業</p> <p>3-3-1 医師の卒後臨床研修等の充実</p> <p>研修医等の研修施設として認められた病院（臨床研修病院）として、臨床研修医及びレジデント（専門分野の研修医）の積極的な受入れを行なうこと。</p> <p>名古屋大学医学部附属病院、名古屋市立大学病院や県が設立した他の地方独立行政法人などの臨床研修病院との連携や、法人の有する人的・物的資源を活かした独自の臨床研修プログラムの開発など、質の高い医療従事者の養成に努めること。</p>
------------------	---

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
31	<p>(1) 質の高い医療従事者の養成</p> <p>質の高い医療従事者養成のため、独自の臨床プログラムを開発し、その推進体制を強化する。</p>	III	III	III	III	<p>(1) 質の高い医療従事者の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> 最新の医療技術や知識習得のため、学会や講習会への参加に必要な費用を負担するなどの支援を行う。 外部から講師を招聘して講演会等を開催し、専門領域から一般領域まで幅広く知識を習得し、レベルアップを図る。 卒後臨床研修評価機構による認定施設の取得に向け、各種規程や院内体制の整備等の具体的な取り組みを行う。 研修医のニーズを踏まえた「症例検討会」「各診療科部長による講義」や「早朝講義」などを定期的に開催する。 	<p>(1) 質の高い医療従事者の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> 病院が経費を負担する等の支援を行い各種学会、講習会等への参加を奨励した。（1人年2回まで支援） 院内で外部講師を招へいし、医師等を対象とした勉強会、講演会を実施した。 卒後臨床研修評価機構による認定施設の取得に向け、研修プログラム等の見直しを行った。 研修医に対し、各診療科部長による実践的な講義（毎月2診療科）、毎月第2金曜日に研修医を対象とした早朝勉強会を実施した。 研修医を対象とした内科症例検討会を月1回開催し、研修医自らが症例提示を行った。 研修体制の充実等により、平成27年度の医師臨床研修医9名の確保をすることができた。 	III	III	

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																								
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																							
						<p>【医師等を対象とした勉強会、講演会開催実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>講演会等名</th> <th>出席人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26. 4. 10 他6回</td> <td>緩和ケア勉強会</td> <td>延374人</td> </tr> <tr> <td>H26. 9. 11 他1回</td> <td>医療安全講演会</td> <td>延876人</td> </tr> <tr> <td>H26. 07. 29 他1回</td> <td>感染対策講演会</td> <td>延910人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【初期臨床研修医数】 (各年度末時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H 2 4</th> <th>H 2 5</th> <th>H 2 6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>17人</td> <td>17人</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>2人</td> <td>2人</td> <td>2人</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	講演会等名	出席人数	H26. 4. 10 他6回	緩和ケア勉強会	延374人	H26. 9. 11 他1回	医療安全講演会	延876人	H26. 07. 29 他1回	感染対策講演会	延910人	区分\年度	H 2 4	H 2 5	H 2 6	医師	17人	17人	18人	歯科医師	2人	2人	2人			
開催日	講演会等名	出席人数																															
H26. 4. 10 他6回	緩和ケア勉強会	延374人																															
H26. 9. 11 他1回	医療安全講演会	延876人																															
H26. 07. 29 他1回	感染対策講演会	延910人																															
区分\年度	H 2 4	H 2 5	H 2 6																														
医師	17人	17人	18人																														
歯科医師	2人	2人	2人																														
32	(2) 後期研修医（レジデント）に対する研修等 後期研修医（レジデント）に対しては、多治見病院独自の研修と大学病院と連携した研修等、魅力あるプログラムを開発し運用推進していく。	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	(2) 後期研修医（レジデント）に対する研修等 ・後期研修1年目の研修医は、研修希望診療科の選択を可能とする。 ・各診療科においては、専門領域の疾患の診断と治療の指導はもとより研究会、学会参加や学会発表の支援を行うなどのサポート体制を強化し、卒後臨床研修の充実を図る。	(2) 後期研修医（レジデント）に対する研修等 ・後期研修1年目の研修医に対し、希望する複数の診療科にて研修を行った。 ・各診療科で専門領域の疾患の診断と治療はもとより、研究会、学会参加や学会発表の支援を行った。	Ⅲ	Ⅲ	<p>【後期研修医（レジデント）数】 (各年度末時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H 2 4</th> <th>H 2 5</th> <th>H 2 6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>12人</td> <td>15人</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H 2 4	H 2 5	H 2 6	医師	12人	15人	12人	歯科医師	1人	1人	1人											
区分\年度	H 2 4	H 2 5	H 2 6																														
医師	12人	15人	12人																														
歯科医師	1人	1人	1人																														

1-3-2 看護学生、救急救命士等に対する教育の実施

中期目標	3-3-2 看護学生、救急救命士等に対する教育の実施 県内に就学している看護学生の実習受入れ、救急救命士の新規養成及び再教育にともなう病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実を図ること。
------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																					
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																				
33	<p>(1) 医学生、看護学生の実習受入れ 看護学生に対しては実習の積極的な受け入れ、当院の人員確保に努める。 ○看護学生に対する教育 平成20年度実績 大学77名、看護学校等136名 平成21年度見込 大学73名、看護学校等176名</p> <p>今後も積極的に看護師に対する実習を定期的を実施する。</p>	III	III	III	III	<p>(1) 医学生、看護学生の実習受け入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医学生の受け入れについては、引続き関連大学(名古屋大学、名古屋市立大学、岐阜大学等)から積極的に受け入れる。また、合同ガイダンスにも引き続き参加し、当院のPRを行っていく。 ・看護学生については、専門学校や大学から積極的に実習を受け入れる。 	<p>(1) 医学生、看護学生の実習受け入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医学生については、名古屋大学、名古屋市立大学、岐阜大学など関連大学から積極的に受け入れた。 ・ 医学生に対するPRのためポートメッセ名古屋、じゅうろくプラザ、大阪、東京で開催された合同ガイダンスに参加し、研修医の募集を行った。 ・ 静岡県立静岡がんセンター認定看護師教育課程(緩和ケア分野)、富山県看護協会認定看護師教育課程(緩和ケア分野)、岐阜県立看護大学 CNS コース(がん看護専門看護師)の学生を受け入れた。 ・ 看護学生やコメディカルの専門学校や大学から、積極的に実習を受け入れた。 <p>【項目3(9ページ)に記載】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医学生の受け入れ状況 <p>【看護学生受け入れ実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>受け入れ元</th> <th>受け入れ状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>多治見看護専門学校</td> <td>357名</td> </tr> <tr> <td>県立看護大学</td> <td>77名</td> </tr> <tr> <td>中京学院大学</td> <td>84名</td> </tr> <tr> <td>東濃看護専門学校</td> <td>31名</td> </tr> <tr> <td>下呂看護専門学校</td> <td>18名</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他(コメディカル)の受け入れ状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>受け入れ部署</th> <th>受け入れ元・受け入れ状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤部</td> <td>愛知学院大学1名、岐阜薬科大学2名、金城学院大学2名 計5名</td> </tr> <tr> <td>中央放射線部</td> <td>岐阜医療科学大学10名、東海医療技術専門学校3名 計13名</td> </tr> <tr> <td>臨床検査科</td> <td>岐阜医療科学大学15名、名古屋大学1名 計16名</td> </tr> </tbody> </table>	受け入れ元	受け入れ状況	多治見看護専門学校	357名	県立看護大学	77名	中京学院大学	84名	東濃看護専門学校	31名	下呂看護専門学校	18名	受け入れ部署	受け入れ元・受け入れ状況	薬剤部	愛知学院大学1名、岐阜薬科大学2名、金城学院大学2名 計5名	中央放射線部	岐阜医療科学大学10名、東海医療技術専門学校3名 計13名	臨床検査科	岐阜医療科学大学15名、名古屋大学1名 計16名	IV	IV	<p>県外から看護実習生を積極的に受け入れていることは高く評価できる。</p>
受け入れ元	受け入れ状況																													
多治見看護専門学校	357名																													
県立看護大学	77名																													
中京学院大学	84名																													
東濃看護専門学校	31名																													
下呂看護専門学校	18名																													
受け入れ部署	受け入れ元・受け入れ状況																													
薬剤部	愛知学院大学1名、岐阜薬科大学2名、金城学院大学2名 計5名																													
中央放射線部	岐阜医療科学大学10名、東海医療技術専門学校3名 計13名																													
臨床検査科	岐阜医療科学大学15名、名古屋大学1名 計16名																													

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																										
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																									
							<table border="1"> <tr> <td>リハビリテーション科</td> <td>日本福祉大学外 14施設 計 23名</td> </tr> <tr> <td>栄養管理部</td> <td>中部大学1名 東海学園大学2名 計3名</td> </tr> </table> <p>【学生の実習受入状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医学生</td> <td>10人</td> <td>9人</td> <td>22人</td> </tr> <tr> <td>看護学生</td> <td>525人</td> <td>602人</td> <td>567人</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>48人</td> <td>57人</td> <td>60人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>583人</td> <td>668人</td> <td>649人</td> </tr> </tbody> </table>	リハビリテーション科	日本福祉大学外 14施設 計 23名	栄養管理部	中部大学1名 東海学園大学2名 計3名	区分\年度	H24	H25	H26	医学生	10人	9人	22人	看護学生	525人	602人	567人	コメディカル	48人	57人	60人	合計	583人	668人	649人				
リハビリテーション科	日本福祉大学外 14施設 計 23名																																		
栄養管理部	中部大学1名 東海学園大学2名 計3名																																		
区分\年度	H24	H25	H26																																
医学生	10人	9人	22人																																
看護学生	525人	602人	567人																																
コメディカル	48人	57人	60人																																
合計	583人	668人	649人																																
34	<p>(2) 救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実</p> <p>救急救命士に対しては、定期的な講習及び病院実習を実施し医療技術の向上を図る。</p> <p>○救急救命士に対する教育</p> <p>平成20年度実績 生涯教育実習74名、 気管挿管実習5名、薬剤投与実習1名</p> <p>平成21年度見込 生涯教育実習70名、 気管挿管実習5名、薬剤投与実習2名</p> <p>今後も積極的に救急救命士に対する実習を定期的 に実施する。</p>	III	III	III	III	<p>(2) 救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実</p> <p>・生涯教育実習、就業前実習、気管挿管実習、薬剤投与実習を定期的 に実施し、医療技術の向上を図る。</p> <p>【研修実績の年度比較】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生涯教育実習</td> <td>51名</td> <td>75名</td> <td>72名</td> </tr> <tr> <td>就業前実習</td> <td>4名</td> <td>4名</td> <td>6名</td> </tr> <tr> <td>気管挿管実習</td> <td>8名</td> <td>3名</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>薬剤投与実習</td> <td>1名</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> </tbody> </table> <p>【救急救命士の実習受入状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>64人</td> <td>64人</td> <td>82人</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H24	H25	H26	生涯教育実習	51名	75名	72名	就業前実習	4名	4名	6名	気管挿管実習	8名	3名	3名	薬剤投与実習	1名	1名	1名	H24	H25	H26	64人	64人	82人	III	III	
区分\年度	H24	H25	H26																																
生涯教育実習	51名	75名	72名																																
就業前実習	4名	4名	6名																																
気管挿管実習	8名	3名	3名																																
薬剤投与実習	1名	1名	1名																																
H24	H25	H26																																	
64人	64人	82人																																	

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

1-4 地域支援事業

1-4-1 地域医療への支援

中期目標	<p>3-4 地域支援事業</p> <p>3-4-1 地域医療への支援</p> <p>地域の医療機関との連携・協力体制の充実を図り、高度先進医療機器の共同利用の促進、開放病床の利用促進など、地域基幹病院として地域医療の確保に努めること。</p> <p>医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援など人的支援を行うこと。</p>
------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
35	<p>(1) 地域医療水準の向上</p> <p>平成20年9月より開放型病床の登録医を募り、5床の開放型病床を稼働。医科歯科合わせて207名の登録医により、1年間に21名の共同診療を実施した。二次医療圏における連携強化を図り登録医師促進、開放型病床・高度医療機器の共同利用を推進する。</p> <p>東濃地域周産期母子医療センターとして、東濃地域の産科開業医との「お産ネットワーク」を結び、密接な連携のもと、小児科医と共にハイリスクの周産期医療を担っている。地域医療機関と共に安心して出産ができる体制づくりを推進する。</p>	III	III	III	III	<p>(1) 地域医療水準の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域医療連携推進協議会の開催や、医療連携登録医等への継続的な訪問活動を通じて、医療連携の強化、各医療機関の役割分担の明確化を図り、地域支援病院の指定に必要な紹介率・逆紹介率の確保を目指す。 高度医療機器や開放型病床の共同利用について継続的にPRし、利用を促進する。 病院主催の講演会、勉強会（医療連携、医療安全、感染対策、緩和ケアなど）を通じて、地域の医療水準の向上と医療機関相互の連携強化に努める。 東濃地域周産期母子医療センターとして、東濃地域の産科医との「お産ネットワーク」を結び、密接な連携のもと、小児科と協働してハイリスクの周産期医療を推進する。 在宅緩和ケアについて、地域のケアマネージャーや診療所等と連携し、事例検討会の開催や入院の調整を行う。 精神科を設置している地域医療機関と東濃精神科医療連絡協議会を定期的に開催し、精神医療に関する情報交換を積極的に行う。 	<p>(1) 地域医療水準の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 四半期に1度のペースで開催した地域医療連携推進協議会を通じ、医師会長をはじめとする関係者に医療連携の推進、高度医療機器、開放型病床の利用を呼びかけた。 医療連携講演会、症例検討会等を開催し、地域医療の質の向上に努めた。 <p>11/20 「これからの在宅医療～遠隔診療利用型在宅医療」 参加者 65名</p> <ul style="list-style-type: none"> 精神科を設置している地域医療機関と東濃精神科医療連絡協議会を定期的に開催し、精神医療に関する情報交換を積極的に行った。（内容：事例検討、講演会など） 東濃地域周産期母子医療センターとして、東濃地域の産科医との「お産ネットワーク」を結び、ハイリスクの周産期医療に対し、24時間365日体制で安心して出産ができる環境の維持に努めた。 <p>【項目17（23ページ）に記載】</p> <ul style="list-style-type: none"> 紹介率・逆紹介率 高度医療機器の共同利用実績 開放型病床利用実績 <p>【項目19（25ページ）に記載】</p> <ul style="list-style-type: none"> 合同カンファレンスの実績 	III	III	

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証			
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項		
36	(2) 医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援など人的支援 へき地医療は、国民健康保険上矢作病院へ、医師を一人派遣しており、研修医も、月単位に一人ずつ、派遣している。今後も継続し、支援を推進する。	IV	II	III	IV	(2) 医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援など人的支援 ・国民健康保険上矢作病院に対し、定期的な医師の派遣支援を継続する。 ・へき地医療に関しては、岐阜県へき地医療支援機構の求めに応じ、随時医師の派遣を行う。 ・中津川市民病院をはじめとした他院からの依頼に応じ、可能な限り随時医師の派遣を行う。	(2) 医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援など人的支援 ・国民健康保険上矢作病院へ医師を週1日（当直業務を含む）延べ53人、研修医を1ヶ月に1名ずつ5ヶ月間派遣をした。 ・岐阜県へき地医療支援機構の求めに応じ、国民健康保険蛭川診療所へ、5日間、各1名の医師を派遣した。 ・中津川市民病院からの依頼に応じ、4/1 から1/31 まで毎週木曜日に、医師（脳神経外科）1名（2名で隔週交代）を派遣した。	III	III	東濃地域のへき地医療に大きく貢献している。		
							【他の医療機関への人的支援の状況】（延べ日数）					
							派遣先 医療機関名	H24	H25	H26		
							国保上矢作病院	114日	106日	106日		
							国保蛭川診療所	4日	5日	4日		
							中津川市民病院	－日	24日	43日		

1-4-2 社会的な要請への協力

中期 目標	3-4-2 社会的な要請への協力 岐阜県立多治見病院が有する人材や知見を提供し、鑑定、調査、講師派遣など社会的な要請に積極的な協力を行うこと。
----------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
37	医療に関する鑑定や調査、講師派遣などの社会的な要請に対する協力を行う。	III	III	III	III	・医療に関する鑑定や調査、講師派遣などの社会的な要請に対する協力を行う。	・専門分野への講演・技術指導の要請に応じ近隣の病院・施設へ認定看護師や専門看護師等を講師として派遣した。	III	III	

項	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																				
						<ul style="list-style-type: none"> 医療系専門学校・大学等の要請に応じて講師等の派遣や学生の実習受け入れを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 多治見看護専門学校に医師、看護師、コメディカルを非常勤講師として派遣した。 県内外の大学や教育機関等へ、認定看護師、コメディカルを講師として派遣した。 多治見陶器まつりに、多治見陶器まつり実行委員会の要請で救護班として職員を派遣した。 <p>【講師等派遣の状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>124人</td> <td>129人</td> <td>136人</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>64人</td> <td>35人</td> <td>52人</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>17人</td> <td>16人</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>205人</td> <td>180人</td> <td>206人</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H24	H25	H26	医師	124人	129人	136人	看護師	64人	35人	52人	コメディカル	17人	16人	20人	合計	205人	180人	206人			
区分\年度	H24	H25	H26																											
医師	124人	129人	136人																											
看護師	64人	35人	52人																											
コメディカル	17人	16人	20人																											
合計	205人	180人	206人																											

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組
 1-5 災害等発生時における医療救護
 1-5-1 医療救護活動の拠点機能

中期目標	3-5 災害等発生時における医療救護 3-5-1 医療救護活動の拠点機能 災害等発生時には、岐阜県地域防災計画に基づき、患者の受け入れや医療スタッフの現地派遣など本県或いは東濃地域の医療救護活動の拠点機能を担うこと。
------	--

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項
38	(1) (医療救護活動拠点機能確保、訓練実施) 岐阜県地域防災計画に基づき、又は自らの判断で、岐阜県或いは東濃地域の医療救護活動拠点機能を担う。 そのため、日頃から実践的な災害医療訓練を定期的に行い医療救護活動の拠点となる病院としての機能を維持し災害発生時には患者の受け入れなど求められる機能を発揮する。	III	III	III	III	(1) 岐阜県地域防災計画に基づき、又は自らの判断で、本県或いは東濃地域の医療救護活動拠点機能を担う。 <ul style="list-style-type: none"> 岐阜県災害拠点病院として大規模災害時にも迅速に対応できるよう救命救急センターを中心に受け入れ態勢をとる。 消防訓練及び大規模災害を想定した訓練を実施し、医療救護活動拠点としての機能を検証する。また、患者搬送等に必要な設備、備品等の充実に努める。 新型インフルエンザ等発生時に指定地方公共機関 	(1) 岐阜県地域防災計画に基づき、又は自らの判断で、本県或いは東濃地域の医療救護活動拠点機能を担う。 <ul style="list-style-type: none"> 10月9日に大規模災害を想定した災害実働訓練を実施し、岐阜県災害拠点病院として、迅速に対応できるようにした。 火災を想定した避難訓練を実施し、機能を検証した。 (7/18、1/29の2回) 	III	III	

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
						としての責務を果たす。	<ul style="list-style-type: none"> GEMITS (患者カードシステム) に参加するためのハードウェア整備を行った。 県が開催した新型インフルエンザ等発生における会議及び緊急連絡網の訓練に参加し、情報共有と連絡体制の確認を行った。 平成25年度に作成した診療継続計画の内容の見直しを行い、感染対策委員会を通じて院内の周知を図った。 			

1-5-2 他県等の医療救護への協力

中期 目標	3-5-2 他県等の医療救護への協力 県内のみならず他県等の大規模災害等においても、災害派遣医療チーム (DMAT) を派遣するなど、積極的に医療救護の協力を行うこと。
----------	---

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
39	(1) 大規模災害発生時のDMATの派遣 大規模災害時に厚生労働省医政局からの要請に常時対応出来る体制をとり、災害派遣医療チーム (DMAT) を派遣する。	IV	IV	III	III	(1) 大規模災害発生時の災害派遣医療チーム (DMAT) の派遣 ・厚生労働省医政局の要請により災害派遣医療チーム (DMAT) を常時派遣できる体制をとる。	(1) 大規模災害発生時の災害派遣医療チーム (DMAT) の派遣 ・大規模災害時にも迅速に対応できるよう2チーム体制を維持した。 ・御嶽山噴火の時に岐阜県よりDMATの待機要請があり、3名の職員が病院内に待機をした。	III	III	
40	(2) DMATの質と向上 大規模災害に対応できるよう災害派遣医療チーム (DMAT) は、国及び中部地区で定期的に開催される講習会に参加し、質の向上と維持を図る。	III	III	III	III	(2) DMATの質と向上 ・厚生労働省、中部地区、岐阜県などで開催する訓練に参加し、質の向上と維持を図る。 ・災害派遣精神医療チーム (DPAT: Disaster Psychiatric Assistance Team) の養成研修 (講義、演習) に精神科医を参加させ大規模災害時の精神医療活動に備える。	(2) 災害派遣医療チーム (DMAT) の質の向上と維持 ・厚生労働省、中部地区、岐阜県などで開催する訓練に参加し、質の向上と維持を図った。	III	III	

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																		
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																	
						【主な DMAT 活動訓練実績】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施期間</th> <th>訓練内容</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26. 8. 30</td> <td>広域医療搬送訓練</td> <td>5名</td> </tr> <tr> <td>H26. 10. 11, 12</td> <td>中部ブロック DMAT 実 動訓練</td> <td>12名</td> </tr> <tr> <td>H26. 12. 15, 16</td> <td>技能維持研修</td> <td>8名</td> </tr> <tr> <td>H27. 1. 10, 11</td> <td>中部ブロックロジス ティクス研修</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>H27. 2. 23</td> <td>岐阜 DMAT 連絡会議</td> <td>3名</td> </tr> </tbody> </table>	実施期間	訓練内容	参加人数	H26. 8. 30	広域医療搬送訓練	5名	H26. 10. 11, 12	中部ブロック DMAT 実 動訓練	12名	H26. 12. 15, 16	技能維持研修	8名	H27. 1. 10, 11	中部ブロックロジス ティクス研修	1名	H27. 2. 23	岐阜 DMAT 連絡会議	3名			
実施期間	訓練内容	参加人数																									
H26. 8. 30	広域医療搬送訓練	5名																									
H26. 10. 11, 12	中部ブロック DMAT 実 動訓練	12名																									
H26. 12. 15, 16	技能維持研修	8名																									
H27. 1. 10, 11	中部ブロックロジス ティクス研修	1名																									
H27. 2. 23	岐阜 DMAT 連絡会議	3名																									

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組
2-1 効率的な業務運営体制の確立
2-1-1 簡素で効果的な組織体制の確立

中期 目標	4 業務運営の改善及び効率化に関する事項 4-1 効率的な業務運営体制の確立 4-1-1 簡素で効果的な組織体制の確立 医療を取り巻く環境の変化に迅速かつ的確に対応するため、法人の理事長のリーダーシップが発揮できる簡素で効果的な組織体制を確立すること。 ITの活用とアウトソーシングを進めるとともに、経営企画機能を強化し、経営効率の高い業務執行体制を確立すること。
----------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
41	(1) 効率的かつ効果的な組織体制の構築 理事長のリーダーシップが発揮できる効率的・効果的な組織体制を構築する。	III	III	III	III	(1) 効率的かつ効果的な組織体制の構築 ・経営基盤の強化のため、経営分析、医療連携、診療報酬を担当する部門を中心に整備した組織体制について、より効率的に機能するよう充実を図る。	(1) 効率的かつ効果的な組織体制の構築 ・従来からの病歴管理とそれに基づくデータ作成、がん登録を担ってきた「診療録管理室」を医事課内に配置し、診療報酬担当職員との連携を円滑にするとともに、委託職員との連携も強化し、効率的な組織体制を整備した。 ・診療報酬担当において、診療情報管理士4名を配置し、診療情報提供(活用)体制の強化を図った。	III	III	

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
42	(2) 各種業務のIT化の推進 病院独自のITインフラを再整備することで、情報到達に確実性を持たせ、ペーパーレス化、迅速化を図る。	III	III	III	III	(2) 各種業務のIT化の推進 ・職員向けのIT研修を実施し、各種業務のIT化に順応できるよう個々の職員のスキルアップを図る。 ・電子カルテを中心とする医療総合情報システムについて、ハード・ソフトの両面から改修を行い、ユーザーの操作性を向上させる。	(2) 各種業務のIT化の推進 ・ Excel、Word、Powerpoint の他、緊急連絡に必要なスマートフォンに関する研修会を9回実施した。 ・ 現場の要望を汲み、医療総合情報システムのプログラム改修を行い、ユーザーの操作性を向上させた。 ・ 大規模災害時などに利用するトリアージシステムを、スタッフの所在も確認できるよう改修した。	III	III	
43	(3) アウトソーシング導入による合理化 定期的な業務についてはアウトソーシングを導入することにより各種事務合理化を進める。	III	III	III	III	(3) アウトソーシング導入による合理化 ・物流管理システム(SPD)について、看護師の業務軽減・本来業務への専念、診療科・部門別の原価計算などのデータ管理・分析機能の強化を目的にシステムの更新を行う。 ・業務の性質や費用対効果等を勘案のうえ、アウトソーシングの導入を検討し、業務のスリム化を図る。	(3) アウトソーシング導入による合理化 ・平成25年度と同様、外来駐車場の有料化に伴い発生する駐車場の料金収入の範囲内で、駐車場の管理運営業務全般を外部委託し、運営経費を削減した。 ・プロポーザルにより選定したSPD運用管理の委託業者を活用し、各現場への毎日配送開始による看護師の業務軽減及び各現場在庫数の減、SPDセンター貯蔵品の預託化による在庫の縮減を図った。 ・平成25年から民間会社に委託している保育業務は、引き続き夜間保育及び休日保育を行うとともに、病児保育の利便性を向上させた。	III	III	
44	(4) 経営効率の高い業務執行体制の確立 事務局職員の病院運営企画にかかわる能力向上の支援を行ったり、病院経営に寄与すると認められる職員が定年を迎えた場合の再雇用制度の積極的な活用を図り、経営企画機能を強化することで、経営効率の高い業務執行体制を確立する。	III	III	III	III	(4) 経営効率の高い業務執行体制の確立 ・経営分析、医療連携、診療報酬を担当する各部門へ診療情報管理士を配置し、診療情報を活かした業務執行体制の充実を図る。 ・再雇用制度等を推進し、有能な人材の確保に努める。 ・診療情報の分析、活用による経営企画能力の向上のため、職員の診療情報管理士資格の取得を促進、支援する。 ・病院運営にかかる各種研修会等へ幹部職員を始	(4) 経営効率の高い業務執行体制の確立 ・診療報酬担当において、診療情報管理士4名の配置とし、診療情報提供(活用)体制の強化を図った。 ・経営分析、医療連携、診療報酬を担当する各部門へ診療情報管理士を配置し、診療報酬内容を検証するなど診療情報を活かした業務執行体制の充実を図った。 ・定年を迎えた職員については、希望者全員を再雇用するとともに、組織にとって極めて有為な人	III	III	

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
						めとして積極的に参加する。	材の場合には、非常勤の管理職員として再雇用し、円滑な病院運営を実施する体制を整備した。 ・ 病院運営にかかる病院長・幹部職員セミナー等へ幹部職員を始めとして積極的に参加するとともに、新中央診療棟建設構想推進のための研修も受講した。			
45	(5) 時差出勤制度の導入 女性医師を対象に時差出勤制度を導入することで、女性医師のより積極的な病院運営参画を促す。	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	(5) 時差出勤制度の導入 ・ 時差出勤や短時間勤務などの利用を促進し、勤務の負担軽減を図ることで、ワークライフバランスの推進を図る。	(5) 時差出勤制度の導入 ・ 女性医師3名に短時間勤務制度（週20時間、30時間）を適用し、ワークライフバランスを支援し、女性医師の離職防止を図った。	Ⅲ	Ⅲ	今後も女性医師の離職防止に向けた取組みを期待したい。

2-1-2 診療体制、人員配置の弾力的運用

中期 目標	4-1-2 診療体制、人員配置の弾力的運用 医療需要の変化に迅速に対応し、診療科の変更や医師・看護師等の配置の弾力的運用を行うこと。 常勤以外の雇用形態も含めた多様な専門職の活用による、効果的な医療の提供に努めること。
----------	---

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
46	(1) 弾力的運用の実施 医療需要の変化や患者動向に迅速に対応した、診療科の変更、医師・看護師等の配置の弾力的運用を行う。	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	(1) 弾力的運用の実施 ・ 平成24年度に制度化した夜間専従看護師の配置、短時間労働制の実施、職場復帰支援プログラムを中心として、看護師確保対策を推進している。	(1) 弾力的運用の実施 ・ 7対1看護体制の実現を契機に、外来と病棟の看護師配置の充実を図った。 ・ 非常勤看護職員20人のライフスタイルとキャリア形成支援として、勤務時間延長を行った。 ・ 育児部分休業や短時間勤務制度を利用している看護職員の面接を行い、現状把握と今後の制度活用予定について確認した。 ・ 看護体制の強化のため以下の取組みを行った。 ① 夜勤専従看護師の配置 平成25年度に制度化した救命救急センタ	Ⅲ	Ⅲ	看護体制の強化に向けた取り組みは評価できる。今後も様々な取組みを期待したい。

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証									
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項								
							<p>一及び救急外来にかかる夜勤専従看護師（非常勤職員）について、平成26年度も引き続き夜間専従看護師を救急外来に1名配置した。また、正規職員においても、職員の意見を十分に汲み取りながら、勤務表の作成を行った。</p> <p>② 短時間就労制の実施 働き手のニーズに合わせ週1回、1日1時間以上の勤務を提案し、週20時間未満の勤務をしている非常勤職員を10名配置した。 また、正規職員においても、育児部分休業及び育児短時間勤務を推奨し、21名が利用した。</p> <p>③ 職場復帰支援プログラムの実施 復帰に不安を抱えている離職者のための託児付き復帰支援制度を実施することにより、新たに22名の非常勤看護師を採用した。（平成26年度末時点 103名）</p> <p>【育児部分休業及び育児短時間勤務 利用者数】 (各年度末時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>8人</td> <td>16人</td> <td>21人</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H24	H25	H26	利用者数	8人	16人	21人			
区分\年度	H24	H25	H26															
利用者数	8人	16人	21人															
47	(2) 効果的な体制による医療の提供 常勤以外の雇用形態を含む多様な専門職の活用など、効果的な体制による医療の提供に努める。	III	IV	IV	IV	<p>(2) 効果的な体制による医療の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医師事務作業補助者の業務の質の向上や増員により、さらなる医師の負担軽減を図る。 ・ 連携パスコーディネーターによる地域連携クリニカルパスの普及や運用の推進を継続する。 ・ 新たに採用した新卒の薬剤師に対し、適切な指導を行い、病院で働く薬剤師としての能力を養う。病棟ごとの薬剤業務の充実を図る。 	<p>(2) 効果的な体制による医療の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医師の負担軽減対策として、医師事務作業補助者の人員を増員し10月には15:1となった。また、内視鏡センター及び化学療法室に新たに人員を配置したほか、NCD登録業務や内科の業務拡充に伴う人員を整備した。 ・ 連携パスコーディネーターによる地域連携クリニカルパスの普及や運用の推進を継続した。パス運用件数が全体的に増えた。 ・ 新たに採用した新卒の薬剤師に対し能力を養うための研修を行い、病棟ごとの薬剤業務の配置をした。 	IV	IV									

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																																							
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																							
						【医師事務作業補助者配置部署】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15診療科</td> <td>20診療科</td> <td>23診療科</td> </tr> </tbody> </table> 【医師・看護師事務作業補助者数】(各年度末時点) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師事務作業補助者 (医療クラーク)</td> <td>24人</td> <td>28人</td> <td>40人</td> </tr> <tr> <td>病棟事務補助者 (看護クラーク)</td> <td>11人</td> <td>11人</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>35人</td> <td>39人</td> <td>51人</td> </tr> </tbody> </table> 【病棟専任薬剤師配置】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15人</td> <td>15人</td> </tr> </tbody> </table>	H24	H25	H26	15診療科	20診療科	23診療科	区分\年度	H24	H25	H26	医師事務作業補助者 (医療クラーク)	24人	28人	40人	病棟事務補助者 (看護クラーク)	11人	11人	11人	合計	35人	39人	51人	H25	H26	15人	15人																	
H24	H25	H26																																															
15診療科	20診療科	23診療科																																															
区分\年度	H24	H25	H26																																														
医師事務作業補助者 (医療クラーク)	24人	28人	40人																																														
病棟事務補助者 (看護クラーク)	11人	11人	11人																																														
合計	35人	39人	51人																																														
H25	H26																																																
15人	15人																																																
48	(3) 3法人間の人事交流による適正な職員配置 3法人間の人事交流により(人材活用のネットワーク化) 適正な職員配置を確保する。	III	III	III	III	(3) 3法人間の人事交流による適正な職員配置 (人材活用のネットワーク化) ・適正な職員確保及び配置を図るため、地方独立行政法人岐阜県総合医療センター及び地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院との間で、人事交流調整を引き続き進める。特に看護師、薬剤師といった医療技術職員を相互に派遣し、各地域における医療サービスの水準を維持する。	(3) 3法人間の人事交流による適正な職員配置 (人材活用のネットワーク化) ・3法人間の人事交流により、適正な職員配置を確保した。	III	III																																								
						【職員の他法人への出向状況】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table> 【他法人職員の受入状況】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table> (派遣元、職種別内訳) <table border="1"> <thead> <tr> <th>派遣元</th> <th>人数及び職員の内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岐阜県総合医療センター</td> <td>薬剤師1人</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H24	H25	H26	医師	0人	0人	0人	コメディカル	1人	0人	0人	合計	1人	0人	0人	区分\年度	H24	H25	H26	医師	0人	0人	0人	看護師	1人	0人	0人	コメディカル	1人	1人	1人	合計	2人	1人	1人	派遣元	人数及び職員の内訳	岐阜県総合医療センター	薬剤師1人			
区分\年度	H24	H25	H26																																														
医師	0人	0人	0人																																														
コメディカル	1人	0人	0人																																														
合計	1人	0人	0人																																														
区分\年度	H24	H25	H26																																														
医師	0人	0人	0人																																														
看護師	1人	0人	0人																																														
コメディカル	1人	1人	1人																																														
合計	2人	1人	1人																																														
派遣元	人数及び職員の内訳																																																
岐阜県総合医療センター	薬剤師1人																																																

2-1-3 人事評価システムの構築

中期目標	4-1-3 人事評価システムの構築 職員のモチベーション向上のため、知識、能力、経験や勤務実績等を反映させた公平で客観的な人事評価制度の構築を図り、中期目標の期間の最終年度までに試行運用を行うこと。
------	--

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項
49	職員の業績や能力を職員の給与に反映し、職員の人材育成、人事管理に活用するための公正で客観的な人事評価制度を構築する。また、中期目標の期間内に当該制度の試行を実施する。	III	III	III	III	職員の業績や能力を職員の給与に反映し、職員の人材育成、人事管理に活用するため、コンサルタントへ業務委託し、当院独自の評価制度を試行する。	<ul style="list-style-type: none"> 職員の業績や能力を職員の給与に反映し、職員の人材育成、人事管理に活用するために、今年度は医師以外の職員について以下の取り組みを行った。 <ol style="list-style-type: none"> 勤務評定に期首面談・業務目標管理の仕組みを導入し、試行した。 勤務評価の評価要素・基準を見直し、試行した。 人事評価として管理職の業績評価を導入し、試行した。 	IV	IV	

2-1-4 事務部門の専門性の向上

中期目標	4-1-4 事務部門の専門性の向上 事務部門において、病院特有の事務に精通した法人の職員を計画的に確保及び育成することにより、事務部門の専門性を向上すること。
------	--

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項
50	病院特有の事務に精通し、法人の事務及び経営の中心となるプロパー職員を計画的に確保するため、企業会計、庁舎管理、医事会計、電子カルテシステム等院内各分野に精通した事務局職員を計画的に採用し育成する。	III	III	III	III	<ul style="list-style-type: none"> 新規採用職員研修を始めとし、事務職員としての総合的な資質を高めつつ、専門性の向上を図る。 診療情報の分析、活用による経営企画能力の向上のため、職員の診療情報管理士資格の取得を促進、支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> 新規採用職員の研修を上半期に集約化し、専門性の向上を図った。 (主な内容) マナー・コミュニケーション/医療関連法規 など 診療情報管理士は、平成26年度末に新たに職 	III	III	

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																															
	また、診療報酬事務、病院経営等の専門研修を実施し事務部門の総合的な専門性の向上を図る。	III	III	III	III	<ul style="list-style-type: none"> 経営管理や人事・労務管理等に関する研修会への参加を積極的に進める。 プロパー職員の採用を計画的に進めるとともに、企業会計等に精通した外部人材の確保に引き続き取り組む。 	<p>員4名が資格取得した。平成26年度末までに新たに2名が受講を開始した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営管理や人事・労務管理等に関する研修会や、現在の病院建設計画事情を把握するためにセミナーに参加した。 民間企業等での実務経験を持つ者も対象に採用試験を実施した。 職員の患者案内業務の質の向上を目的として、「聴覚障がい者対応研修」を開催した。 参加者 22名(事務職、看護師等) <p>【研修参加実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>研 修 会 名</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26.6.30</td> <td>病院建築講座～施設整備をお考えの方へ～</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>H26.8.2～3</td> <td>病院長・幹事職員セミナー</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>H26.8.8</td> <td>債権管理研修会</td> <td>28人</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2025年に向けた病院経営戦略 他4研修</td> <td>123人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【事務職員の状況】 (各年度末時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プロパー職員</td> <td>26人</td> <td>28人</td> <td>31人</td> </tr> <tr> <td>県派遣職員</td> <td>11人</td> <td>8人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>37人</td> <td>36人</td> <td>36人</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	研 修 会 名	参加者数	H26.6.30	病院建築講座～施設整備をお考えの方へ～	2人	H26.8.2～3	病院長・幹事職員セミナー	2人	H26.8.8	債権管理研修会	28人	その他	2025年に向けた病院経営戦略 他4研修	123人	区分\年度	H24	H25	H26	プロパー職員	26人	28人	31人	県派遣職員	11人	8人	5人	合計	37人	36人	36人			
開催日	研 修 会 名	参加者数																																							
H26.6.30	病院建築講座～施設整備をお考えの方へ～	2人																																							
H26.8.2～3	病院長・幹事職員セミナー	2人																																							
H26.8.8	債権管理研修会	28人																																							
その他	2025年に向けた病院経営戦略 他4研修	123人																																							
区分\年度	H24	H25	H26																																						
プロパー職員	26人	28人	31人																																						
県派遣職員	11人	8人	5人																																						
合計	37人	36人	36人																																						

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組
 2-2 業務運営の見直しや効率化による収支改善
 2-2-1 多様な契約手法の導入

中期目標
 4-2 業務運営の見直しや効率化による収支改善
 4-2-1 多様な契約手法の導入
 透明性・公平性の確保に十分留意しつつ、複数年契約や複合契約など多様な契約手法を導入し、契約事務の集約化・簡素化・迅速化を図るとともに、費用の節減に努めること。

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
51	民間病院の取り組みを参考に、複数年契約や複合契約などの多様な契約手法導入により、契約事務の集約化・簡素化・迅速化を図る。具体的には、病院関連委託業務（医療事務、給食、警備、清掃、薬剤、診療材料、寝具、洗濯等）について、「複数年契約」、「包括的業務委託」、「委託業務の集約化」などにより事務合理化及び費用の節減を図る。	IV	III	III	III	・引き続き「病院経営に関するコンサルタント業務」を活用し、効率的な契約方法や費用について検討を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院経営に関するコンサルタント業務の専門業者を活用し、効率的かつ効果的な業務運営が行われるよう提案を受けた。 <ul style="list-style-type: none"> ① 医療機器購入価格や医薬品、診療材料契約単価について精査し、価格交渉を実施した。 ② 検体検査外部委託は、競争入札を導入した。 ③ SPD（物流管理）システムの契約・運用について、適宜適切にアドバイスを受けながら院内及び業者協議を実施した。 ④ 医事委託業務では、業務量を洗い出しによる予定価格の積算を行い、複数年契約のプロポーサルを実施した。 ・ 平成27年度からの委託業務などについて、仕様書や契約内容の見直しにより契約金額の抑制を図った。 ・ 主たる取引先金融機関について、プロポーザルを実施し価格面のみでなく病院運営に有利となる提案を比較検討し決定した。 	III	III	

2-2-2 収入の確保

中期目標	4-2-2 収入の確保 地域社会のニーズに即した病院経営を行うことにより、病床利用率や医療機器の稼働率を高め、収入の確保に努めること。
------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
52	(1) 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用 平成21年4月1日から本格的に運用の始まったDPC（Diagnosis Procedure Combination の略、診断群分類）は、①医療の質の向上と情報開示、②医療の標準化と透明化、③標準的な治療と価格を患	III	III	III	III	(1) 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用、DPCの推進 ・ 平均在院日数、手術件数と入院収益、入院単価については引き続き分析を継続するとともに、新たに導入した分析システム「メディカル・コ	(1) 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用、DPCの推進 ・ 平均在院日数、診療単価、新規入院患者数について継続して診療報酬委員会において検討を行い、在院日数のさらなる短縮とそれに伴う7対1	IV	IV	7対1看護体制の実現による診療単価の増加やDPC機能評価

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																		
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																	
	<p>者に明らかにする等を目的に、「1入院あたり人的・物的に医療資源を最も投入した傷病名を」を一つだけ選択し、その傷病名に最も適切な診断群分類のコーディングにより、入院の1日当たりの包括点数が決定され、この包括点数には、主な検査や投薬、処置料が包括されている。</p> <p>よって、医療資源を最も投入した傷病名の選択、診断群分類のコーディング等、効果的な運用及び推進を図るとともに、効率的な検査、投薬等の推進を図り、出来高の活用も図っていく。また、診療科に制限されない効率的な病床管理、医療機器の効率的な活用を図る。</p>					<p>ード」及び既存の「EVE」をあわせて活用することで、診療科別部門別原価計算分析、管理料等の算定率などの分析により、医療の質の向上に努めると同時に、診療と経営の現状把握、自院の立ち位置等を明確にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 診療報酬改定をふまえ、改定内容に対する自院の状況に関する分析を通じ、将来的な病院の方向性、問題点等を明確にするためのデータ分析について検討を進める。 	<p>看護体制を実現し、診療単価についても増加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 後発医薬品（ジェネリック）の採用率の増加取り組みなどによりDPC機能評価係数Ⅱの大幅な増加を実現した。 平成25年度から開始した特別食提供率と栄養指導件数の増、術前等の口腔機能管理の実施について、さらなる取り組みを行い、医療の質の向上と算定件数増加を図った。 <p>特別食提供割合</p> <p>H25 29.1%（小児、緩和除く） H26 32.3%（小児、緩和除く）</p> <p>入院栄養指導料算定件数</p> <p>H25 1,436件 H26 2,901件（管理栄養士 2名増）</p> <p>周術期口腔機能管理実施件数</p> <p>H25 193件 H26 435件</p> <p>【病床管理状況の年度比較】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病床稼働率 (%)</td> <td>79.7</td> <td>79.8</td> <td>75.8</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数 (全体)</td> <td>12.9</td> <td>12.6</td> <td>11.5</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数 (一般)</td> <td>12.4</td> <td>11.9</td> <td>10.9</td> </tr> <tr> <td>一日当たり外来患者数</td> <td>1,184</td> <td>1,220</td> <td>1,213</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">患者1人当たり 診療報酬</td> <td>入院 (全体)</td> <td>56,928</td> <td>58,710</td> <td>61,860</td> </tr> <tr> <td>入院 (一般)</td> <td>58,533</td> <td>60,926</td> <td>64,417</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>13,411</td> <td>14,250</td> <td>14,829</td> </tr> </tbody> </table>	項目\年度	H24	H25	H26	病床稼働率 (%)	79.7	79.8	75.8	平均在院日数 (全体)	12.9	12.6	11.5	平均在院日数 (一般)	12.4	11.9	10.9	一日当たり外来患者数	1,184	1,220	1,213	患者1人当たり 診療報酬	入院 (全体)	56,928	58,710	61,860	入院 (一般)	58,533	60,926	64,417	外来	13,411	14,250	14,829			係数Ⅱの増加は高く評価できる。
項目\年度	H24	H25	H26																																								
病床稼働率 (%)	79.7	79.8	75.8																																								
平均在院日数 (全体)	12.9	12.6	11.5																																								
平均在院日数 (一般)	12.4	11.9	10.9																																								
一日当たり外来患者数	1,184	1,220	1,213																																								
患者1人当たり 診療報酬	入院 (全体)	56,928	58,710	61,860																																							
	入院 (一般)	58,533	60,926	64,417																																							
	外来	13,411	14,250	14,829																																							
53	<p>(2) 未収金の発生防止対策等</p> <p>診療報酬の請求漏れ防止を徹底するために内査の強化を図るとともに、未収金発生時での防止を徹底するために相談窓口の拡充を図る。</p>	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	<p>(2) 未収金の発生防止対策等</p> <ul style="list-style-type: none"> 入院案内センターにおいて患者の支払い能力を把握しながら、状況に応じ医療費扶助制度の活用や個々に応じた徴収を早期から計画的に実施していく。 生活困窮患者については、入院中からの早期の対 	Ⅲ	Ⅲ																																			

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																			
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																		
						<p>応を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 弁護士事務所への未収金回収委託を継続し、債権の徴収状況を定期的に把握し、効果的な回収に努める。 	<p>① 個室利用にかかる患者の意思を確認する書類の作成</p> <p>② 入院案内時の患者からの聞き取りにより、生活困窮者や未収金のある患者について、医療相談室や未収金担当者と連携し、入院初期の段階から公費負担制度の活用や支払計画の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 弁護士事務所への回収委託を活用し効果的な回収業務を行った。 平成26年度回収額：1,373千円 ・ 夏期と冬期に計画的に滞納者の自宅を訪問し、未収金の回収を図った。 平成26年度実績：1,315千円 (夏期・746千円、冬期・569千円) <p>【未収金の発生状況】 (各年度末時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H24</th> <th colspan="2">H25</th> <th colspan="2">H26</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額(千円)</th> <th>件数</th> <th>金額(千円)</th> <th>件数</th> <th>金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>過年分</td> <td>650</td> <td>34,988</td> <td>721</td> <td>39,898</td> <td>613</td> <td>37,086</td> </tr> <tr> <td>現年分</td> <td>2,051</td> <td>93,821</td> <td>2,109</td> <td>69,312</td> <td>2,393</td> <td>78,596</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,701</td> <td>128,809</td> <td>2,830</td> <td>109,210</td> <td>3,006</td> <td>115,682</td> </tr> </tbody> </table>		H24		H25		H26		件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	過年分	650	34,988	721	39,898	613	37,086	現年分	2,051	93,821	2,109	69,312	2,393	78,596	合計	2,701	128,809	2,830	109,210	3,006	115,682			
	H24		H25		H26																																							
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)																																						
過年分	650	34,988	721	39,898	613	37,086																																						
現年分	2,051	93,821	2,109	69,312	2,393	78,596																																						
合計	2,701	128,809	2,830	109,210	3,006	115,682																																						

2-2-3 費用の削減

中期目標	4-2-3 費用の削減 薬剤・診療材料の購入方法の見直しや在庫管理の徹底や後発医薬品（ジェネリック医薬品）の採用などにより費用の節減に努めること。
------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																					
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																				
54	(1) 薬品・診療材料の在庫管理を適正に行い院内 在庫を必要最小限に抑える。また、後発医薬品（ジ ェネリック医薬品）の積極的採用・他病院の契約 単価の調査などにより薬品費・診療材料費の節減 を図る。	II	III	III	III	<ul style="list-style-type: none"> 薬品・診療材料について、コスト管理に重点を置 いた在庫管理の実施に向けた取り組みを行う。 「病院経営に関するコンサルタント業務」を活用し、 薬品及び診療材料にかかる費用の節減を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> プロポーザルにより選定したSPD運用管理の 委託業者を活用し、各現場への毎日配送開始によ る看護師の業務軽減及び各現場在庫数の減や、S PDセンター貯蔵品の預託化による在庫の縮減 を図った。 薬品について、病院経営に関するコンサルタン ト業務の専門業者のアドバイスを受けて業者交 渉を行い、業者間の競争促進及び費用の節減を図 ることができた。 有効性、安全性に考慮した後発医薬品の積極的 な採用を行い、費用の節減を図った。 <p>【後発医薬品（ジェネリック）の使用比率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>品目ベース</td> <td>29.21%</td> <td>23.98%</td> <td>84.86% (※)</td> </tr> <tr> <td>金額ベース</td> <td>10.14%</td> <td>8.58%</td> <td>8.41%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(※)：計算方法の変更による</p> <p>【医薬収益に対する材料費比率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品費</td> <td>14.08%</td> <td>15.41%</td> <td>14.51%</td> </tr> <tr> <td>診療料費</td> <td>9.00%</td> <td>9.76%</td> <td>10.08%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【薬品費及び診療材料費】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品費</td> <td>2,071,624千円</td> <td>2,372,117千円</td> <td>2,261,872千円</td> </tr> <tr> <td>診療料費</td> <td>1,316,480千円</td> <td>1,501,479千円</td> <td>1,570,945千円</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H24	H25	H26	品目ベース	29.21%	23.98%	84.86% (※)	金額ベース	10.14%	8.58%	8.41%	区分\年度	H24	H25	H26	薬品費	14.08%	15.41%	14.51%	診療料費	9.00%	9.76%	10.08%	区分\年度	H24	H25	H26	薬品費	2,071,624千円	2,372,117千円	2,261,872千円	診療料費	1,316,480千円	1,501,479千円	1,570,945千円	III	III	
区分\年度	H24	H25	H26																																											
品目ベース	29.21%	23.98%	84.86% (※)																																											
金額ベース	10.14%	8.58%	8.41%																																											
区分\年度	H24	H25	H26																																											
薬品費	14.08%	15.41%	14.51%																																											
診療料費	9.00%	9.76%	10.08%																																											
区分\年度	H24	H25	H26																																											
薬品費	2,071,624千円	2,372,117千円	2,261,872千円																																											
診療料費	1,316,480千円	1,501,479千円	1,570,945千円																																											

3 予算（人件費の見積含む。）、収支計画及び資金計画

中期目標	5 財務内容の改善に関する事項
	5-1 経常収支比率 業務運営の改善及び効率化を効果的に進めることで、中期目標の期間の最終年度までに経常収支比率100%以上を達成すること。
	5-2 職員給与費対医業収益比率 職員給与費対医業収益比率については、同規模の全国自治体病院の黒字病院の当該比率の平均値を参考に、中期計画にその目標を定め、中期目標の期間の最終年度までに達成すること。

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																																																												
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																																																																																											
55	「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、中期目標の期間の最終年度までに、経常収支比率100%以上及び職員給与費対医業収益比率を50%以下とすることを旨とする。	IV	III	IV	IV	「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、中期目標の期間の最終年度までに、経常収支比率100%以上及び職員給与費対医業収益比率を50%以下とすることを旨とする。	<p>医業収益の増と経費節減などの努力によって、経常収支比率101.6%、及び職員給与費対医業収益比率50.6%となった。</p> <p>【経常収支比率・職員給与費対医業収益比率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支</td> <td>105.8%</td> <td>104.0%</td> <td>101.6%</td> </tr> <tr> <td>職員給与費</td> <td>49.7%</td> <td>49.6%</td> <td>50.6%</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H24	H25	H26	経常収支	105.8%	104.0%	101.6%	職員給与費	49.7%	49.6%	50.6%	IV	IV	経常収支比率が年度計画を上回っており高く評価できる。																																																																															
区分\年度	H24	H25	H26																																																																																																		
経常収支	105.8%	104.0%	101.6%																																																																																																		
職員給与費	49.7%	49.6%	50.6%																																																																																																		
<p>3-1 予算（平成22年度～平成26年度） (単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 営業収益</td> <td>70,064</td> </tr> <tr> <td> 医業収益</td> <td>65,820</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>3,861</td> </tr> <tr> <td> その他営業収益</td> <td>383</td> </tr> <tr> <td> 営業外収益</td> <td>538</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>443</td> </tr> <tr> <td> その他営業外収益</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td> 資本収入</td> <td>3,719</td> </tr> <tr> <td> 長期借入金</td> <td>1,493</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金</td> <td>2,226</td> </tr> <tr> <td> その他資本収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> その他の収入</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>						区 分	金 額	収入		営業収益	70,064	医業収益	65,820	運営費負担金収益	3,861	その他営業収益	383	営業外収益	538	運営費負担金収益	443	その他営業外収益	95	資本収入	3,719	長期借入金	1,493	運営費負担金	2,226	その他資本収入	0	その他の収入	0	<p>3-1 予算（平成26年度） (単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 営業収益</td> <td>16,717</td> </tr> <tr> <td> 医業収益</td> <td>15,755</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>884</td> </tr> <tr> <td> その他営業収益</td> <td>78</td> </tr> <tr> <td> 営業外収益</td> <td>104</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td> その他営業外収益</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td> 資本収入</td> <td>402</td> </tr> <tr> <td> 長期借入金</td> <td>86</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金</td> <td>305</td> </tr> <tr> <td> その他資本収入</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td> その他の収入</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>						区 分	金 額	収入		営業収益	16,717	医業収益	15,755	運営費負担金収益	884	その他営業収益	78	営業外収益	104	運営費負担金収益	63	その他営業外収益	41	資本収入	402	長期借入金	86	運営費負担金	305	その他資本収入	11	その他の収入	0	<p>3-1 決算（平成26年度） (単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 営業収益</td> <td>16,852</td> </tr> <tr> <td> 医業収益</td> <td>15,874</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>897</td> </tr> <tr> <td> その他営業収益</td> <td>81</td> </tr> <tr> <td> 営業外収益</td> <td>107</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td> その他営業外収益</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td> 資本収入</td> <td>399</td> </tr> <tr> <td> 長期借入金</td> <td>86</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金</td> <td>305</td> </tr> <tr> <td> その他資本収入</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td> その他の収入</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>						区 分	金 額	収入		営業収益	16,852	医業収益	15,874	運営費負担金収益	897	その他営業収益	81	営業外収益	107	運営費負担金収益	62	その他営業外収益	45	資本収入	399	長期借入金	86	運営費負担金	305	その他資本収入	8	その他の収入	3
区 分	金 額																																																																																																				
収入																																																																																																					
営業収益	70,064																																																																																																				
医業収益	65,820																																																																																																				
運営費負担金収益	3,861																																																																																																				
その他営業収益	383																																																																																																				
営業外収益	538																																																																																																				
運営費負担金収益	443																																																																																																				
その他営業外収益	95																																																																																																				
資本収入	3,719																																																																																																				
長期借入金	1,493																																																																																																				
運営費負担金	2,226																																																																																																				
その他資本収入	0																																																																																																				
その他の収入	0																																																																																																				
区 分	金 額																																																																																																				
収入																																																																																																					
営業収益	16,717																																																																																																				
医業収益	15,755																																																																																																				
運営費負担金収益	884																																																																																																				
その他営業収益	78																																																																																																				
営業外収益	104																																																																																																				
運営費負担金収益	63																																																																																																				
その他営業外収益	41																																																																																																				
資本収入	402																																																																																																				
長期借入金	86																																																																																																				
運営費負担金	305																																																																																																				
その他資本収入	11																																																																																																				
その他の収入	0																																																																																																				
区 分	金 額																																																																																																				
収入																																																																																																					
営業収益	16,852																																																																																																				
医業収益	15,874																																																																																																				
運営費負担金収益	897																																																																																																				
その他営業収益	81																																																																																																				
営業外収益	107																																																																																																				
運営費負担金収益	62																																																																																																				
その他営業外収益	45																																																																																																				
資本収入	399																																																																																																				
長期借入金	86																																																																																																				
運営費負担金	305																																																																																																				
その他資本収入	8																																																																																																				
その他の収入	3																																																																																																				

項目 No.	中期計画		過年度の検証結果				H26 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証		
			H22	H23	H24	H25			業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項		自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項	
	計	74,321					計	17,223	計	17,361				
	支出					支出			支出					
	営業費用	61,624				営業費用	14,903		営業費用	14,563				
	医業費用	59,682				医業費用	14,526		医業費用	14,205				
	給与費	32,189				給与費	7,518		給与費	7,203				
	材料費	15,890				材料費	4,290		材料費	4,222				
	経費	11,213				経費	2,633		経費	2,725				
	研究研修費	390				研究研修費	85		研究研修費	55				
	一般管理費	1,942				一般管理費	377		一般管理費	358				
	給与費	1,457				給与費	256		給与費	263				
	経費	485				経費	121		経費	95				
	営業外費用	722				営業外費用	106		営業外費用	107				
	資本支出	8,654				資本支出	1,549		資本支出	1,485				
	建設改良費	4,972				建設改良費	818		建設改良費	773				
	償還金	3,624				償還金	686		償還金	684				
	その他資本支出	58				その他資本支出	45		その他資本支出	28				
	その他の支出	165				その他の支出	10		その他の支出	0				
	計	71,165				計	16,568		計	16,155				
	(注記 略)					(注記 略)			(注記 略)					
	3-2 収支計画 (平成22年度～平成26年度) (単位:百万円)					3-2 収支計画 (平成26年度) (単位:百万円)			3-2 収支計画 (平成26年度) (単位:百万円)					
	区分	金額				区分	金額		区分	金額				
	収益の部	70,530				収益の部	16,791		収益の部	16,631				
	営業収益	69,997				営業収益	16,689		営業収益	16,521				
	医業収益	65,728				医業収益	15,722		医業収益	15,538				
	運営費負担金収益	3,861				運営費負担金収益	884		運営費負担金収益	897				
	資産見返負債戻入	30				資産見返負債戻入	6		資産見返負債戻入	6				
	その他営業収益	378				その他営業収益	77		その他営業収益	80				
	営業外収益	533				営業外収益	102		営業外収益	107				
	運営費負担金収益	443				運営費負担金収益	63		運営費負担金収益	62				
	その他営業外収益	90				その他営業外収益	39		その他営業外収益	45				
	臨時利益	0				臨時利益	0		臨時利益	3				
	費用の部	70,559				費用の部	16,417		費用の部	16,363				
	営業費用	67,758				営業費用	15,840		営業費用	15,702				
	医業費用	65,914				医業費用	15,433		医業費用	15,306				
	給与費	33,854				給与費	7,636		給与費	7,588				
	材料費	15,150				材料費	4,038		材料費	3,931				

項目 No.	中期計画				過年度の検証結果				H26 年度計画				年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証		
					H22	H23	H24	H25					業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項				自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
	経費	11,061							経費	2,473			経費	2,530					
	減価償却費	5,474							減価償却費	1,207			減価償却費	1,208					
	研究研修費	375							研究研修費	79			研究研修費	49					
	一般管理費	1,844							一般管理費	407			一般管理費	396					
	給与費	1,349							給与費	264			給与費	279					
	減価償却費	50							減価償却費	27			減価償却費	25					
	経費	445							経費	116			経費	92					
	営業外費用	2,636							営業外費用	567			営業外費用	661					
	臨時損失	115							臨時損失	0			臨時損失	0					
	予備費	50							予備費	10			予備費	0					
	純利益	-29							純利益	374			純利益	268					
	目的積立金取崩額	0							目的積立金取崩額	0			目的積立金取崩額	0					
	総利益	-29							総利益	374			総利益	268					
	(注記 略)				(注記 略)				(注記 略)										
	3-3 資金計画 (平成22年度~平成26年度) (単位:百万円)				3-3 資金計画 (平成26年度) (単位:百万円)				3-3 資金計画 (平成26年度) (単位:百万円)										
	区分	金額						区分	金額						区分	金額			
	資金収入	76,702						資金収入	23,910						資金収入	24,278			
	業務活動による収入	70,602						業務活動による収入	16,821						業務活動による収入	16,942			
	診療業務による収入	65,820						診療業務による収入	15,755						診療業務による収入	15,588			
	運営費負担金による収入	4,304						運営費負担金による収入	947						運営費負担金による収入	964			
	その他の業務活動による収入	478						その他の業務活動による収入	119						その他の業務活動による収入	390			
	投資活動による収入	2,226						投資活動による収入	50						投資活動による収入	101			
	運営費負担金による収入	2,226						運営費負担金による収入	39						運営費負担金による収入	39			
	その他の投資活動による収入	0						その他の投資活動による収入	11						その他の投資活動による収入	62			
	財務活動による収入	1,493						財務活動による収入	352						財務活動による収入	352			
	長期借入による収入	1,493						長期借入による収入	86						長期借入による収入	86			
	その他の財務活動による収入	0						その他の財務活動による収入	266						その他の財務活動による収入	266			
	前事業年度からの繰越金	2,381						前事業年度からの繰越金	6,687						前事業年度からの繰越金	6,883			
	資金支出	76,702						資金支出	23,910						資金支出	24,278			
	業務活動による支出	62,468						業務活動による支出	15,009						業務活動による支出	15,155			
	給与費支出	33,647						給与費支出	7,774						給与費支出	6,336			
	材料費支出	15,890						材料費支出	4,290						材料費支出	4,240			
	その他の業務活動による支出	12,931						その他の業務活動による支出	2,945						その他の業務活動による支出	4,579			
	投資活動による支出	5,029						投資活動による支出	863						投資活動による支出	603			
	有形固定資産の取得による支出	4,972						有形固定資産の取得による支出	818						有形固定資産の取得による支出	575			
	その他の投資活動による支出	57						その他の投資活動による支出	45						その他の投資活動による支出	28			

項目 No.	中期計画		過年度の検証結果				H26 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証		
			H22	H23	H24	H25			業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項		自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項	
	財務活動による支出	3,624					財務活動による支出	686		財務活動による支出	684			
	長期借入金の返済による支出	332					長期借入金の返済による支出	171		長期借入金の返済による支出	171			
	後払地価償還債務の償還による支出	3,292					後払地価償還債務の償還による支出	455		後払地価償還債務の償還による支出	455			
	その他財務活動による支出	0					その他財務活動による支出	60		その他財務活動による支出	58			
	翌事業年度への繰越金	5,581					翌事業年度への繰越金	7,352		翌事業年度への繰越金	7,836			
	(注記 略)						(注記 略)							

4 短期借入金の限度額

項目 No.	中期計画		過年度の検証結果				H26 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証	
			H22	H23	H24	H25			業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項		自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
一	4-1 限度額 10億円		/	/	/	/	4-1 限度額 10億円		4-1 限度額 10億円		/	/	/
	4-2 想定される短期借入金の発生理由 賞与の支給等、資金繰り資金への対応		/	/	/	/	4-2 想定される短期借入金の発生理由 賞与の支給等、資金繰り資金への対応		4-2 想定される短期借入金の発生理由 賞与の支給等、資金繰り資金への対応		/	/	/

5 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画

項目 No.	中期計画		過年度の検証結果				H26 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証	
			H22	H23	H24	H25			業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項		自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
一	なし		/	/	/	/	なし		なし		/	/	/

6 剰余金の使途

項目 No.	中期計画		過年度の検証結果				H26 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証	
			H22	H23	H24	H25			業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項		自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
一	決算において剰余金が発生した場合は、病院施設の整備、医療機器の購入等に充てる。		/	/	/	/	決算において剰余金が発生した場合は、病院施設の整備、医療機器の購入等に充てる。		なし		/	/	/

7 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項
7-1 職員の就労環境の向上

中期目標	<p>6 その他業務運営に関する重要事項</p> <p>6-1 職員の就労環境の向上</p> <p>職員の実情等を考慮した柔軟な勤務形態の導入、院内保育施設等の整備・拡充といった育児支援体制の充実など、日常業務の質の向上を図るために必要な職員の就労環境の整備に努めること。</p> <p>さらに、地方独立行政法人制度の特徴を十分に活かし、不足している医療従事者（特に看護師）を必要な人数確保することによって、病院職員全体の勤務環境を改善すること。</p>
------	---

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項
56	(1) 医療従事者の業務負担を軽減し、本来の業務に専念できるようにするため、必要な人数を迅速に確保することで、病院全体の勤務環境の改善を図る。	III	III	III	III	(1) 医師の事務負担軽減のため、医師事務作業補助者の追加配置を推進する。	(1) 医師事務作業補助者を年度末までに40名に増員して医師の過密業務の軽減を図り、補助体制は昨年度の2.5:1から1.5:1となった。 【項目47（46ページ）に記載】 ・ 医師事務作業補助者配置部署 ・ 医師・看護師事務作業補助者数	IV	IV	医師の業務軽減につながる医師事務作業補助者の増員は評価できる。
57	(2) 育児中の女性職員のために院内保育所の受け入れ体制を強化する。具体的には、保育対象年齢の引き上げ、病後児保育の追加を検討する。また、保育対象年齢引き上げに伴う受け入れ人数増加に対応するため、既存保育施設の増築及び一部改修を進める。さらに時差出勤制度の導入により、仕事と家庭の両立を図る。	III	III	III	IV	(2) 仕事と家庭の両立を支援するため、夜間保育・休日保育・病児保育を引き続き実施するとともに、職員のニーズに応じた体制づくりに努める。また、利便性向上による利用者の増加及び利用時間の増加に対応するため、施設、備品等の整備を進める。	(2) 平成25年4月から引き続き民間会社に保育業務を委託し、夜間保育及び休日保育を行うとともに、病児保育の利便性を向上させた。 【項目2（8ページ）に記載】 ・ 夜間保育 ・ 休日保育 ・ 院内保育所の運営状況 ・ 病児保育利用実績	III	IV	院内保育所の運営に努力しており評価できる。
58	(3) 看護師については、7対1看護体制の導入のため、新規採用者の積極的な受け入れと離職防止に努め、必要な職員数を確保し、看護師の就労環境の整備に努める。	III	III	III	III	(3) 7対1看護体制の導入のため、新規採用者の積極的な受け入れと離職防止に努め、必要な職員数を確保し、看護師の就労環境の整備に努める。	(3) 看護師の就労環境整備 ・ 平均在院日数の短縮や医療連携の強化などにより7対1看護体制の実現し、より質の高い医療の提供が可能となった。 ・ 看護学生に対する奨学金制度として、看護職員	IV	IV	7対1看護体制の実現とともに、就労環境の改善や離職率の低下は評価できる。

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証												
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項											
						<ul style="list-style-type: none"> ・就職ガイダンスについて、より看護師確保に効果的なガイダンスを選定し参加するとともに、学校訪問等を実施する。 ・継続的にインターネットや、新聞紙面への広告掲載、折込チラシ等、各種広報媒体を活用した募集活動を実施する。 ・高校生を対象としたふれあい看護体験を実施する。 ・仕事と家庭を両立させるため、育児部分休業の活用を推進する。 ・看護学生向けの奨学金制度を創設し、新卒者の確保に努める。 	<p>修学資金貸付制度を創設し、51名に貸付を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生を対象としたふれあい看護体験を、8月12日に実施した。(参加高校生 52人) ・修学資金制度や7対1看護体制を実現したことなどを学校訪問や広報媒体等によるPRをし、新規採用者の積極的な採用と受け入れを進め離職防止に努めた。 ・また、メンタルヘルス対策と就労環境の整備に今年度も積極的に関わった結果、全体の離職率は前年度より1.5%の減となった。 <p>【看護師の状況】(各年度末時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>常勤看護師数</td> <td>433人</td> <td>437人</td> <td>448人</td> </tr> <tr> <td>常勤准看護師数</td> <td>4人</td> <td>4人</td> <td>3人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【項目2(8ページ)に記載】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育児部分休業及び育児短時間勤務制度利用者数 	区分\年度	H24	H25	H26	常勤看護師数	433人	437人	448人	常勤准看護師数	4人	4人	3人		
区分\年度	H24	H25	H26																		
常勤看護師数	433人	437人	448人																		
常勤准看護師数	4人	4人	3人																		
59	(4) 全職員を対象とした健康管理対策及びメンタルヘルス対策の充実にも努める。	III	III	III	III	<p>(4) 全職員を対象とした健康管理対策及びメンタルヘルス対策の充実にも努め、法定健診(定期健康診断、人間ドック)、任意検査等(各種抗体検査、各種予防接種)を実施する。</p> <p>○メンタルヘルス対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神疾患の未然防止のため、新規採用職員を対象とした研修会や職位等に応じた研修会を実施する。 ○定期健康診断及び特殊健康診断 ・労働安全衛生法に基づき、非常勤職員を含む全職員に対して実施する。 ・要精密検査等の指示のあった者に対して、文書により受診勧告を行う。 ○人間ドック ・30歳代偶数年齢及び40歳以上の正職員のうち希望者に対して実施する。 	<p>(4) 職員を対象とした健康管理対策及びメンタルヘルス対策の充実にも努め、法定健診(定期健康診断、人間ドック)、任意検査等(各種抗体検査、各種予防接種)を実施した。</p> <p>○メンタルヘルス対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各職場における精神疾患未然防止のため、管理職員対象の講演会や、新規採用職員に対して講義を実施した。 <p>【メンタルヘルスカケア相談件数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13件</td> <td>17件</td> <td>7件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○定期健康診断及び特殊健康診断</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労働安全衛生法に基づき、非常勤職員を含む全職員に対して実施した。 	H24	H25	H26	13件	17件	7件	III	III						
H24	H25	H26																			
13件	17件	7件																			

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
						<p>○肝炎検査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肝炎に暴露する可能性のある職場に勤務する職員に対して実施する。 ・陰性者に対するワクチン接種に努める。 <p>○小児4種抗体検査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規採用者及び転入者に対して実施する <p>○結核検査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・40歳以下の職員を対象に血液検査を実施し、各個人の基準となる数値の把握を行う。 <p>○ワクチン接種</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当院に勤務する職員に対し、インフルエンザワクチン接種を実施する。 ・破傷風菌に暴露する可能性のある職務に従事する職員に対し、破傷風ワクチン接種を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・要精密検査等の指示のあった者に対して、文書により受診勧告を行った。 <p>○人間ドック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・30歳代偶数年齢及び40歳以上の共済組合加入職員のうち希望者に対し、受診費用の助成を行った。 <p>○肝炎検査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肝炎に暴露する可能性のある職場に勤務する職員に対して実施し、陰性者には病院経費によりワクチン接種を実施した。 <p>○小児4種抗体検査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規採用者及び転入者に対して実施した。 <p>○結核健診</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全職員に対し、定期健康診断と併せて年2回の胸部X線撮影を行った。 ・39歳以下の職員を対象に血液検査を実施し、陽性者に文書により受診勧告を行った。 <p>○インフルエンザワクチン接種</p> <ul style="list-style-type: none"> ・希望職員に対してワクチン接種を実施した。 			

7-2 県及び他の地方独立行政法人との連携に関する事項

中期目標	6-2 県及び他の地方独立行政法人との連携 人事交流など、県及び県の設立した他の地方独立行政法人との連携を推進すること。
------	---

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																									
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																								
60	医師、看護師やコメディカルなどの医療従事者の人事交流など、県及び県が設立した他の地方独立行政法人との連携を推進する。	III	III	III	III	医師、看護師やコメディカルなどの医療従事者の人事交流など、県及び県が設立した他の地方独立行政法人との連携を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 県及び3法人間で、人事交流のほか、医療や経営に関する情報交換を行った。 <p>【職員の他法人への出向状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【他法人職員の受入状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(派遣元、職種別内訳)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>派遣元</th> <th>人数及び職員の内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岐阜県総合医療センター</td> <td>薬剤師 1名</td> </tr> </tbody> </table> <p>【県からの派遣状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>1人</td> <td>2人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>事務</td> <td>11人</td> <td>8人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>12人</td> <td>10人</td> <td>6人</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H24	H25	H26	医師	0人	0人	0人	コメディカル	1人	0人	0人	合計	1人	0人	0人	区分\年度	H24	H25	H26	医師	0人	0人	0人	看護師	1人	0人	0人	コメディカル	1人	1人	1人	合計	2人	1人	1人	派遣元	人数及び職員の内訳	岐阜県総合医療センター	薬剤師 1名	区分\年度	H24	H25	H26	医師	1人	2人	1人	事務	11人	8人	5人	合計	12人	10人	6人	III	III	
区分\年度	H24	H25	H26																																																															
医師	0人	0人	0人																																																															
コメディカル	1人	0人	0人																																																															
合計	1人	0人	0人																																																															
区分\年度	H24	H25	H26																																																															
医師	0人	0人	0人																																																															
看護師	1人	0人	0人																																																															
コメディカル	1人	1人	1人																																																															
合計	2人	1人	1人																																																															
派遣元	人数及び職員の内訳																																																																	
岐阜県総合医療センター	薬剤師 1名																																																																	
区分\年度	H24	H25	H26																																																															
医師	1人	2人	1人																																																															
事務	11人	8人	5人																																																															
合計	12人	10人	6人																																																															

7-3 医療機器・施設整備に関する事項

中期 目標	6-3 医療器械・施設整備 医療機器・施設整備については、費用対効果、県民の医療需要、医療技術の進展など総合的に勘案して計画的に実施すること。
----------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																										
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																									
61	<p>(1) 中期目標の期間における医療機器・施設整備に当たっては、費用対効果、県民の医療需要、医療技術の進展などを総合的に判断して着実に実施する。</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>施設及び設備の内容</th> <th>予定額 (単位: 百万円)</th> <th>財 源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院施設、医療機器等整備</td> <td>4, 972</td> <td>設立団体からの長期借入金等</td> </tr> </tbody> </table>	施設及び設備の内容	予定額 (単位: 百万円)	財 源	病院施設、医療機器等整備	4, 972	設立団体からの長期借入金等	III	III	III	III	<p>・医療機器については、医療機器整備委員会において各診療科の要望を取りまとめた上で、費用対効果、医療需要と医療技術の進歩などを総合的に判断して購入予定機器を選定し新規購入や更新を補助金の活用も図りながら計画的に進める。</p> <p>・施設整備については、医療機器の購入に伴う整備、施設の老朽化対応、患者の意見を反映させた改修等を医療機器整備と同様に進める。</p> <p>・老朽化した中央診療棟については、既存施設も含めた建替えに向け具体的な計画の策定(財源、建替え手法等)に着手する。</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">(単位: 百万円)</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療機器等整備</td> <td>540</td> </tr> <tr> <td>施設等整備</td> <td>225</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>765</td> </tr> </tbody> </table>	(単位: 百万円)		区分	金額	医療機器等整備	540	施設等整備	225	計	765	III	III	<p>・老朽化した中央診療棟について、委員会を設置し、既存施設も含めた建替えに向けた整備の進め方や手法などの基本構想について検討した。</p> <p>・また、新中央診療棟整備について県との協議を進めた。</p> <p>・医療機器整備委員会において各診療科の要望を取りまとめて、費用対効果、需要と医療技術の進歩などを総合的に判断して購入予定機器を選定し、購入を実施した。</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">(単位: 百万円)</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療機器等整備</td> <td>525</td> </tr> <tr> <td>施設等整備</td> <td>209</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>734</td> </tr> </tbody> </table>	(単位: 百万円)		区分	金額	医療機器等整備	525	施設等整備	209	計	734
施設及び設備の内容	予定額 (単位: 百万円)	財 源																																	
病院施設、医療機器等整備	4, 972	設立団体からの長期借入金等																																	
(単位: 百万円)																																			
区分	金額																																		
医療機器等整備	540																																		
施設等整備	225																																		
計	765																																		
(単位: 百万円)																																			
区分	金額																																		
医療機器等整備	525																																		
施設等整備	209																																		
計	734																																		

7-4 法人が負担する債務の償還に関する事項

中期目標	<p>6-4 法人が負担する債務の償還に関する事項</p> <p>法人は、岐阜県に対し、地方独立行政法人法第66条第1項に規定する地方債のうち、法人成立の日までに償還されていないものに相当する額の債務を負担すること。また、その債務の処理を確実に行うこと。</p>
------	---

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証												
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項											
62	<p>法人が岐阜県に対し負担する債務の償還を確実にやっていく。</p> <p style="text-align: center;">(単位: 百万円)</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>中期目標期 間償還額</th> <th>次期以降 償還額</th> <th>総債務償 還額</th> </tr> </thead> </table>	区 分	中期目標期 間償還額	次期以降 償還額	総債務償 還額	III	III	III	III	<p>法人が岐阜県に対し負担する債務の償還を確実に行う。</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">企業債平成26年度償還額 (元本)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9月</td> <td>1億 9千 9百万円</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>4億 2千 6百万円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>6億 2千 5百万円</td> </tr> </tbody> </table>	企業債平成26年度償還額 (元本)		9月	1億 9千 9百万円	3月	4億 2千 6百万円	計	6億 2千 5百万円	III	III	
区 分	中期目標期 間償還額	次期以降 償還額	総債務償 還額																		
企業債平成26年度償還額 (元本)																					
9月	1億 9千 9百万円																				
3月	4億 2千 6百万円																				
計	6億 2千 5百万円																				

項目 No.	中期計画				過年度の検証結果				H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証	
					H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項	
	移行前地方 債償還債務	3,292	3,232	6,524						【債務の償還状況(合計)】 (単位:百万円)				
	長期借入金 償還額	332	1,161	1,493						年度	実績	計画		
										22年	932	932		
										23年	895	861		
										24年	481	558		
										25年	670	668		
										26年	625	605		
										中期計画期間計	3,603	3,624		
										(内訳)				
										移行前地方債償還債務 (単位:百万円)				
										年度	実績	計画		
										22年	932	932		
										23年	861	861		
										24年	447	447		
										25年	516	557		
										26年	455	495		
										中期計画期間計	3,211	3,292		
										長期借入金償還額 (単位:百万円)				
										年度	実績	計画		
										22年		0		
										23年	34	0		
										24年	34	111		
										25年	154	111		
										26年	170	110		
										中期計画期間計	392	332		
										<ul style="list-style-type: none"> 法人として岐阜県に対し負担する債務の償還を確実にいった。 				